

第九 儀式

一、開會式

(一) 儀式

昭和七年十月十二日午前十時會場内ニ於テ開會式ヲ舉行セリ當日ハ空ニ一點ノ雲ナク碧空高ク秋氣清明ニシテ絶好ノ共進會日和ナリキ午前八時煙火ヲ合圖ニ各縣ヨリノ出品人及附添人其ノ他一般參觀人學校生徒兒童等陸續トシテ入場シ定刻トナルヤ第一鈴ヲ以テ出品人着席第二鈴ニテ審査官並來賓着席セリ來賓ノ主ナルモノハ

柴田地方裁判所長、後藤檢事正、出口第十二師團獸醫部長、佐野騎兵第十二聯隊長、石崎久留米市長、野口縣會議長、横尾商工會議所會頭、其ノ他縣市會議員、各種學校長、縣郡市町村農會長、畜産組合長、實業家

等九百名ニ達シ辻野内務部長ノ開式ノ辭終リテ早川知事ノ式辭次テ聯合縣知事總代(別宮熊本縣内務部長代讀)第十二師團長(出口獸醫部長代讀)佐賀縣農會長柴田副會長代讀(佐賀市協贊會長横尾敬義)ノ各氏別項ノ如ク夫々祝辭ヲ朗讀シ藤原事務委員

祝電ヲ披露シ出品人總代下平多作氏ノ答辭アリテ午前十一時壯嚴裡ニ閉式シタリ

第七回九州聯合畜産共進會開會式順序

昭和七年十月十二日午前十時(於會場内)

第一鈴 出品人着席

第二鈴 來賓着席

一、開式ノ辭

二、會長式辭

三、來賓祝辭

四、祝電披露

五、出品人總代答辭

六、閉式ノ辭

第三鈴 來賓、參列員退場

式 辭

以上

第七回九州聯合畜産共進會ノ設備完了シ茲ニ開會式ヲ舉クルニ當リ貴賓各位ノ臨場ヲ辱ウシタルハ寔ニ本會ノ光榮トスル所ナリ

第九 儀式

惟フニ我カ九州ノ地ハ各種畜産ノ資源ニ富ムト共ニ關係當局ノ指導獎勵ト當業者ノ自覺トニ依リ近時長足ノ進歩ヲ致セリ而シテ今回ノ出陳物ハ其ノ實質ニ於テ各縣ノ精華ヲ網羅スルコトヲ得タルハ頗ル欣快ニ堪ヘサル所ナリ然リト雖斯業ノ前途ハ遠遠ニシテ尙改善刷新ヲ要スヘキ事項尠シトセス冀クハ關係者諸氏本邦現時ノ狀勢ニ鑑ミ益々奮勵努力以テ本會開設ノ趣旨ヲ達成セラレムコトヲ一言以テ式辭トナス

昭和七年十月十二日

第七回九州聯合畜産共進會々長

佐賀縣知事 正五位 勳四等 早川 三郎

祝 辭

第七回九州聯合畜産共進會諸般ノ準備完成シ本日以テ開會ノ式典ヲ舉行セラル抑々本會ハ明治四十三年第一回ヲ福岡市ニ開催シ爾來度ヲ重スルコト七回年ヲ閱スルコト二十有三年其ノ間畜産業ハ年ト共ニ向上發達シ改良進歩ノ跡顯著ナルモノアリ今回ノ出陳亦各縣ノ精華ヲ蒐メ本日此盛大ナル開會ヲ觀ル洵ニ斯業前途ノ爲慶賀ニ堪ヘス本會開催ニ當リ主催縣ノ多大ナル斡旋ハ聯合各縣ノ深ク感謝スル

所ニシテ茲ニ聯合縣ヲ代表シ微衷ヲ述ヘ併而祝辭トス

昭和七年十月十二日

聯合縣知事總代

熊本縣書記官 正五位 勳六等 別宮 秀夫

祝 辭

第七回九州聯合畜産共進會開設ニ當リ茲ニ一言ヲ述フルハ本職ノ最モ欣幸トスルトコロナリ

本邦農家經濟ノ主体タル米麥ノ生産モ其動力タリ肥料供給者タル家畜ナクンハ完全ナル農業經營ノ至難ナルコトハ既ニ先進國ニ於テ其ノ例ヲ示セリ

近時農林當局ニ於テモ見ルトコロアリ

有畜農業ノ普及徹底ニ努力シ今回第七回九州聯合畜産共進會ヲ此地ニ開設シ相互ニ其精華ヲ一堂ニ集メテ彼是相討究シ此レヲ萬民ニ供覽セシムルニ至リタルハ誠ニ機宜ニ適セル舉ナリト謂フヘシ

今ヤ九州ノ畜産ハ年ヲ逐フテ顯著ナル發達ヲ遂ケ殊ニ産馬事業ニ於テハ東北、北海道ニ比肩スルノ盛況ニ向ヒツ、アルハ邦家ノ爲誠ニ慶賀ニ堪ヘサルトコロナリ一

國ノ畜産カ國防上將タ産業上ニ至重至大ノ關係ヲ保持スル所以ニ稽ヘ希クハ當業者諸子小成ニ安ンスルコトナク益々良種ヲ選ヒテ其蕃殖育成ニ努メ愈々斯業ノ發達改良ニ精進セラレンコトヲ一言以テ祝辭トス

昭和七年十月十二日

第十二師團長

陸軍中將 杉山元

祝辭

九州聯合畜産共進會ノ設備全ク成リ本日ヲトシ茲ニ開會ノ式典ヲ舉行セラル今其實況ヲ見ルニ出品區域九州全土ニ亘リ點數三百三十有餘ノ多キニ達シ孰レモ各縣ノ優秀種タリ

惟フニ方今社會ノ進歩ノ趨勢ハ國家ノ富源タル畜産ノ改身増殖ニ待ツモノ多ク殊ニ現下ノ不況時ニ於テハ一層其必要ヲ痛感スルモノアリ

此時ニ際シ各地ノ優良種ヲ一堂ニ蒐集陳列シ汎ク一般人士ノ觀覽ニ供スルト共ニ當業者相互ノ研鑽ニ資セントスルハ寔ニ產業界ノ美舉ニシテ國家斯業振興上洵ニ

慶賀ニ堪ヘサルナリ庶幾クハ當業者諸氏一層奮勵努力所期ノ目的ヲ達セラレンコトヲ一言蕪辭ヲ述ヘテ祝辭トス

昭和七年十月十二日

佐賀縣農會長 菊池龍太郎

祝辭

茲ニ本日ヲ以テ第七回九州聯合畜産共進會開會式ヲ舉行セラル洵ニ慶賀ニ堪ヘサルナリ

惟フニ畜産ノ業タル産業發展ノ基ニシテ其消長ハ直ニ國威ノ發揚ト國富ノ増進ニ至大ノ關係ヲ有スルヤ言ヲ俟タス

由來我九州ノ地タルヤ土地廣漠ニシテ沃野多ク氣候風土亦克ク畜産ノ天恵ニ富ム今ヤ天高肥馬ノ候聯合各縣ノ精華ヲ蒐メテ比照研鑽以テ斯業ノ振展ニ資セラル誠ニ機宜ノ施設トシテ祝福ニ堪ヘス不肖等居ヲ此地ニ有スル者相圖リテ協賛會ヲ組織シ本會ノ事業ヲ翼賛シ以テ一層之ガ盛大ヲ期セントス

一言蕪辭ヲ述ヘテ祝意ヲ表ス

昭和七年十月十二日

第七回九州聯合畜産共進會

佐賀市協賛會長

横

尾

敬

義

答 辭

茲ニ第七回九州聯合畜産共進會開會ノ盛典ヲ舉行セラレ幾多貴賓ノ來臨ヲ辱ウシ加フルニ懇篤ナル訓諭ヲ賜ハル吾等ノ光榮何ソ之ニ過キム爾今益々奮勵シテ斯業ノ改善發達ニ努メ以テ高論ニ副ハムコトヲ期ス出品人一同ニ代リ蕪辭ヲ述ヘテ答辭トナス

昭和七年十月十二日

第七回九州聯合畜産共進會出品人總代

佐賀縣佐賀郡久保田村

下

平

多

作

開會式祝電

開會式ノ盛典ヲ祝シ將來ノ進歩發展貢獻アラシコトヲ祈ル

岩永長崎縣會議長

宮崎縣農會長

盛會ヲ祝ス

御盛式ヲ祝ス

福岡縣農會

盛大ナル開會式ヲ祝ス

小倉市長

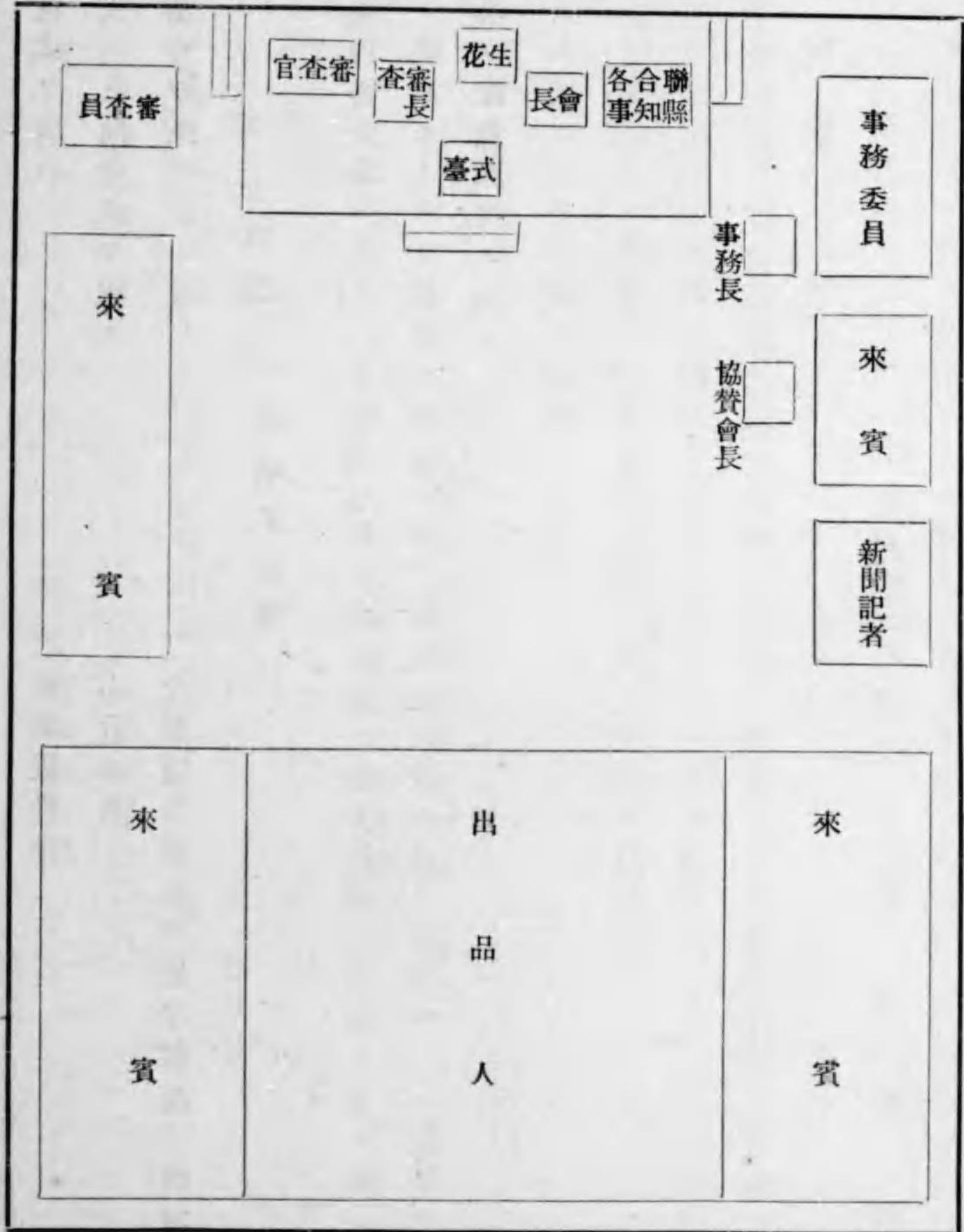
御盛會ヲ祝ス

北海道帝國大學農學部長 須田金之助

(二) 式場ノ設備

會場内審査場ニ長サ二十間幅八間ノ大天幕ヲ建テ周圍ニ幔幕ヲ引キ廻シ内ニハ五色ノ經木モールヲ裝飾シ壇上ニ卓子及活花ヲ置キ其ノ他各席ニハ腰掛ヲ配置シタリ其ノ配置圖次ノ如シ

開會式場



(三) 饗宴

開會式閉會後協賛會ニテハ來賓一同約千二百名ヲ正午ヨリ佐賀市公會堂ニ招待セリ一同着席スルヤ同會長横尾市長ハ共進會開設ノ意義ヲ高調シ之ヲ祝福シテ一場ノ挨拶ヲ述ヘ之ニ對シ別宮熊本縣內務部長來賓ヲ代表シテ謝辭ヲ述ヘ一同ハ折詰瓶詰酒ノ饗應ヲ受ケ其間佐賀券番藝妓ノ舞踊アリテ興ヲ添ヘ同二時賑々シク散會シタリ

二、褒賞授與式

(一) 儀式

十月十七日午前十時會場内ニ於テ褒賞授與式ヲ舉行ス
 第一鈴ニテ出品人第二鈴ニテ來賓着席第三鈴ヲ以テ早川會長ノ先導ニテ農林大臣代理村上畜産局長臨場依テ辻野事務長開式ノ辭ヲナシ次テ樂隊ハ『君か代』ヲ奏樂シ早川會長ノ式辭アリテ横屋審査長審査申告ヲナシ褒賞ノ授與ヲ申請ス村上畜産局長ハ農林大臣ノ告辭ヲ代讀シ褒賞及功勞賞ヲ授與セラレ聯合縣知事總代鈴木長崎縣知事ヲ始メ其ノ他來賓ノ祝辭アリ藤原事務委員祝電ヲ披露シ出品人總代トシ

事務報告

一七四

テ種牛二等賞受賞者原野平太郎氏ノ答辭ニ次テ帝國馬匹協會其ノ他ヨリノ副賞ノ授與アリテ正午閉式第四鈴ニテ農林大臣代理退場第五鈴ヲ以テ來賓參列者一同退場セリ

第七回九州聯合畜産共進會褒賞授與式順序

昭和七年十月十七日午前十時(於會場内)

第一鈴 出品人着席

第二鈴 來賓着席

第三鈴 農林大臣臨場

一、開式ノ辭

二、奏樂(君か代)

三、會長式辭

四、審査長審査申告

五、農林大臣告辭

六、農林大臣褒賞及功勞賞授與

七、聯合縣知事總代祝辭

八、來賓祝辭

九、祝電披露

一〇、出品人總代答辭

二、閉式ノ辭

第四鈴 農林大臣退場

第五鈴 來賓參列員退場

以上

式辭

本日茲ニ第七回九州聯合畜産共進會褒賞授與ノ式典ヲ舉行スルニ當リ多數貴賓ノ來臨ヲ辱ウシタルハ寔ニ本會ノ光榮トスル所ナリ
惟フニ畜産ハ我カ國重要産業ノ一ニシテ之カ資質ノ向上ト生産ノ増加トハ國運ノ發展上極メテ緊要ノ事項ニ屬シ之カ改良發達ヲ圖ルハ洵ニ刻下ノ急務タリ之レ本會ヲ開設シ斯業ノ改善向上ニ資セムトスル所以ナリ
由來我カ九州ノ地ハ畜産ノ適地トシテ夙ニ名聲ヲ博シ加フルニ官民協力斯業ノ改良ニ努メタル結果近時之カ進步ノ跡顯著ナルモノアルハ眞ニ慶賀ニ堪ヘサル所ナリ

然リト雖仔細ニ之ヲ檢覈スル時ハ尙幾多改善ノ餘地尠シトセス冀クハ當業者諸氏宜シク審査ノ成績ニ鑑ミ益々奮勵努力以テ斯業ノ大成ヲ期シ本會開設ノ趣旨ニ副フ所アラムコトヲ一言所懷ヲ述ヘテ式辭トナス

昭和七年十月十七日

第七回九州聯合畜産共進會會長

佐賀縣知事 正五位 勳四等 早川三郎

申告

第七回九州聯合畜産共進會出品ノ審査ヲ終了シ茲ニ其ノ成績ヲ申告スルハ本官ノ光榮トスル所ナリ

審査ヲ受ケタルハ種牛、種馬、種緬羊、種豚、種鶏、畜産製造品及畜産ニ關係アル農具器具機械ノ七部ニ亘リ出品點數總計四百十七點、其ノ人員三百七十名ナリ

第一部種牛ハ改良和種牝五十三、牡三十七計九十頭及ホルスタイン種牝七、牡三、計十頭總計百頭トス

改良和種ハ前回ニ比シ一般ニ資質改善セラレ又調教及削蹄ノ術漸ク普及發達セルヲ見ル、而シテ多クハ体型整一ノ蹟著シク又体积ヲ増シ後驅ノ幅ヲ加ヘ而シテ牝牛

ニ在リテハ一般ニ軀體ノ伸暢佳良ナリシハ之ヲ認ムベシ

然レドモ尙未ダ品位ニ乏シク又地方及個體ニ依ル優劣ノ差著シキモノアリ、將來益々優良系統ノ選擇及合理的登錄方法ノ普及發達ニ努力スルノ要アリ、體部ニ付テハ前肋ノ「張り」乏シク、背腰弱ク、後軀ノ傾斜依然トシテ改メラレズ、又繫貧弱ニシテ欠格アルモノ尠カラズ、且牝牛ニ在リテハ著シク過肥ニ陥リ又乳房乳頭ノ不良ナルモノ極メテ多カリシヲ憾ム

大分縣ノ出品ハ体型比較的揃ヒ資質佳良ナルモノ多ク、体积及後軀ノ幅ニ著シキ改善ノ蹟ヲ見ルモ、背腰不良ニシテ胸幅及「肋張り」ニ乏シク且歩様良シカラザルモノ多ク、又中ニ骨格及角等ノ粗大ナルモノアルヲ認ム。熊本縣ノ出品ハ一般ニ發育良好ニシテ体積ニ富ミ、皮膚比較的軟膩ナルモノ多キモ、体型區々ニシテ中ニ「胴詰リ」ノモノ、或ハ大型ニ失スルモノアリ。毛色統一ヲ欠キ、肩立チ粗ク、鬚甲部弛ク、臄部ノ發達不良ニシテ、繫ニ欠格多ク概ネ過肥陷レリ。長崎縣ハ種牝牛ノ育成ニ留意シ相當ノ成績ヲ示セルハ賞スベシ。形態ニ付テハ体上線比較的佳良ナルモ一般ニ品位ヲ欠キ體部ノ均衡整ハザルノ憾アリ

ホルスタイン種ハ何レモ登錄ヲ受ケタルモノナルモ徒ニ純粹種ノ名ニ甘ンジテ其

ノ資質ヲ具フルコト少ク優位ニ推シタルモノト雖體積小ニシテ又極メテ乳微ニ乏シク之ヲ本邦乳牛界ノ現勢ニ鑑ミル時ハ改良ノ要大ナルモノアリト謂ハザルベカラズ。將來一層優良血統ノ利用ト個體ノ選擇配合ニ留意シテ形態能力ノ改善ニ努メ以テ產乳經濟ノ向上ヲ期セザル可カラズ。

第二部種馬ハ牡四頭、牝六十一頭、計六十五頭ニシテ之ヲ年齡別ニスレバ三歳二十四頭、四歳三十二頭、五歳九頭、更ニ之ヲ役種別ニスレバ乘馬二十一頭、輕挽馬四十四頭トス。

乘馬ハ前回ニ比スレバ資質概ネ向上シ體軀ノ整備ニ改善ノ跡ヲ認ムルモ尙軀幹肢節ノ階調ヲ失シ淺胸長肢乃至ハ下肢堅實ヲ缺クモノ尠ナカラザルヲ以テ之等ハ宜シク血液ノ調節ト育成技術ノ萬全ヲ期シ其ノ調整ヲ圖ル要アリ就中、アラブ系統馬ニアリテハ將來アラブ血液ノ調節ニ依リ軀肢ノ均整ト型格ノ整備ニ努ムル要アリ輕挽馬ハ改善ノ跡頗ル顯著ニシテ數頭ノモノヲ除ケバ一般ニ體高整一シ體積ニ富ミ骨量亦之ニ伴ヒ各馬ヲ通シテ優劣ノ等差極メテ接近セルハ當業者ノ苦心努力ノ結果ニシテ欣快ニ堪ヘズ、然レドモ出陳馬中ニハ未ダ過肉ニ失セルモノ、或ハ蹄ノ管理ノ失宜ニ因リ下肢ニ故障ヲ生ジ又ハ運歩整正ナラザルモノヲ混フルヲ以テ之ガ

矯正ニ付テハ飼養管理ニ一段ノ工夫ヲ要スベシ

更ニ之ヲ縣別ニ概評スレバ、鹿兒島ノ出品十三頭ハ悉ク乘馬ニシテ氣品悍威ニ富ミ四肢良ク乾燥スルモ體軀ノ均整ヲ缺クモノ多シ殊ニ今回ノ出品中ニハ本邦乘馬ノ目標タル「アングロアラブ」ノ型質ヲ具フルモノ少ク且ツ輕挽馬ノ出品皆無ナルハ既往ノ實績ニ徴シ遺憾トスル所ナリ。宮崎縣ノ出品ハ乘馬七頭、輕挽馬六頭ニシテ乘馬ニアリテハ軀肢均稱ヲ得タル堅實ノモノアレドモ、後軀及肢節ニ改善ノ餘地尠カラザルモノアリ。輕挽馬ハ前回ニ比シ體積骨量ヲ増シ實用的堅實味ヲ加ヘタルハ一段ノ進歩ト謂フベシ。大分縣ノ出品ハ輕挽馬七頭ニシテ強健實用的ノモノ多シト雖後軀ニ缺陷ヲ有スルモノ尠カラズ。佐賀縣ノ出品ハ輕挽馬六頭ニシテ前回ニ比シ概ネ良好ナレドモ馬格ノ整一ヲ缺キ出陳馬ノ等差稍々懸隔ノ嫌アリ。

福岡縣ノ出品ハ輕挽馬二頭ニシテ肢節上體ニ伴ハザル憾アリ。熊本縣ノ出品ハ、十四頭中乘馬一頭ヲ除ケバ悉ク輕挽馬ニ屬シ概ネ低身且幅員骨量ニ富ミ實用的型格ヲ備フルニ至リタルハ當業者努力ノ結晶ト謂フベシ。長崎縣ノ出品ハ輕挽馬十頭ニシテ多年ノ努力ニ依リ馬格概ネ整一シ體型ノ整備漸ク成ラントスルノ傾向ニアルハ幸慶ニ堪ヘズ。然レドモ尙體軀重厚ニ失スルモノアルヲ以テ更ニ一段ノ工夫改善ヲ

要スベシ

第三部種細羊ノ出品ハ「ラムブーイエメリノ」種十一、濠洲メリノ種八、「コリーデー
ール」種十、雜種一、合計三十頭トス
出品ノ資質ハ地方ニヨリ格段ノ差違アリ、而シテ其ノ優位ニ屬スルモノニアリテハ
概シテ体型整備シ品質優秀ナルノミナラズ被毛肢蹄ノ手入等亦巧妙周到ニシテ細
羊飼育ニ關スル技術ノ進歩ヲ如實ニ示シタルハ寔ニ欣快ニ堪ヘザル所ナリ
然レドモ殘餘ノモノニ在リテハ發育不良ナルモノ、種類ノ特徵ヲ具ヘザルモノ、管理
宜シキヲ得ザルモノ或ハ蕃殖適齡ニ達セルニ拘ハラズ未ダ其ノ用ニ供セザルモノ
アル等遺憾ノ點尠ナカラズ。將來種畜ノ選擇ニ、其ノ利用ニ、將又飼養管理法ノ改善ニ
一層ノ研鑽努力ヲ望ム

第四部種豚ノ出品ハ、ヨークシャー種牡十、牝二十四、パークシャー種牡一、牝十五、合計
五十頭ニシテ全體トシテハ前回ニ比シ相當改良進歩ノ蹟ヲ認ムト雖特ニ拔群優秀
ナルモノニ乏シキノ憾アリ

今之ヲ通覽スルニ發育不充分ニシテ体軀ノ伸暢ヲ欠クモノ及臀部ノ著シク傾斜セ
ルモノ多ク又四肢不整ナルモノ尠カラズ。而シテ牡ニ在リテハ牡相ヲ欠クモノ、陰囊
弛緩セルモノ及皮毛粗剛、面貌粗野ノ觀ヲ呈セルモノアリ。牝ニ在リテハ貴相ニ乏シ
キモノ四肢過長ニシテ腹部捲縮セルモノ及飼養管理法ノ失宜ニヨリ過肥ニ陥リ或
ハ体軀弛緩シタル爲種豚トシテ不適當トナリタルモノアリ。將來種豚ノ選擇ト共ニ
其ノ育成法ノ改善ニ一層留意スルノ要アリ

第五部種鶏ハ一雄一雌ヲ以テ一點トシ單冠白色レグホーン種五十點、名古屋種二十
二點、橫斑ブリマスロツク種十七點、改良地方種十點、單冠ロードアイランドレッド種
一點、合計百點ナリ

前回ニ比シ概シテ改善ノ傾向アルヲ認ムト雖中ニ資質著シク不良ニシテ且管理上
極メテ無關心ノ點多キモノノ出品尠カラザルヲ惜シム單冠白色レグホーン種ニ在
リテハ雌雄ノ配合宜シカラザルモノ、體軀纖細ニ過グルモノ、「胴詰リ」ノモノ及肉
冠肉髯過大ニシテ尾着ノ不正ナルモノ多シ。名古屋種ニ在リテハ体型矮小ノモノ、羽
色ニ欠格アルモノ、及羽裝未整備ノモノ尠カラズ。橫斑ブリマスロツク種ニ在リテハ
發育不充分ニシテ整備セザルモノ多ク、尙羽色粗雜ナルモノ、脛趾ノ軟弱ナルモノ等
アリ。熊本產改良地方種ハ近年著シキ進境ヲ見タリト雖尙羽色体型ニ改良ノ餘地多
キヲ認ム

第六部畜産製造品ノ出品ハ「バター」、「醱酵乳」、「ハム」、「ベーコン」、「ソーセイジ」、「鹽豚及肉罐詰」ノ八種三十六點ニシテ、前回ニ比シ品質一般ニ向上セルヲ認ムルモ特ニ其ノ傑出セルモノナキヲ遺憾トス。「バター」ニ在リテハ組織均齊ヲ欠ギ又風味及保存性ニ乏シク、醱酵乳ニ在リテハ乳酸菌及香料ノ撰擇宜シキヲ得ザル等改善ヲ要スル點多ク、蜂蜜ニ在リテハ風味良好ナルモ濃度ノ低キモノ或ハ濃度高キモ色澤不良ニシテ醱酵ノ氣味アルモノヲ認メタリ。肉製品ハ進歩改善ノ蹟顯著ナリト雖尙材料ノ選擇、燻煙ノ方法適正ナラズ、色澤鮮美ヲ缺ギ風味亦不良ナルモノ尠カラズ。將來一層研鑽努力以テ益々良品ノ製出ニ努ムヘシ

第七部畜産ニ關係アル農具及器具器械ノ出品ハ犁類三十四點、馬鍬三點、鞍二點、中耕機、乘馬具、育雛器各一點計四十二點ナリ

本會ノ出品ハ前回ニ比シ其ノ質ニ於テ明カニ進歩ノ蹟ヲ認メ得ベシト雖殆ンド其ノ種類及點數ヲ加ヘズ、且近時其ノ普及ヲ見ントシツアル畜力原動機及其ノ附屬農具ノ如キ類ニ屬スル出品皆無ナルハ甚ダ遺憾トスル所ナリ今出品ノ多數ヲ占ムル犁類ニ就テ之ヲ見ルニ相當多數ノ優良品ヲ認ムト雖中ニ單ナル机上ノ考案ニ走リ其ノ實地使用上ノ効果ヲ顧慮セザルモノ、材料ノ選擇、製作技術宜シカラザルモノ

局部的土質ノミヲ顧慮シテ其ノ普及性ニ就キ研究ヲ怠レルモノ、牽引抵抗力過大ニシテ且安定ヲ欠キ操作困難ニシテ其ノ實用的價值ヲ失墜セルモノ等アリ今後叙上諸點ノ改善ニ務ムルト共ニ九州犁ノ聲價必ズシモ昔日ノ如クナラザルノ實狀ニ鑑ミ將來一層進ンデ研鑽ヲ怠ラズ優良ノ犁製作ヲ期センコトヲ望ム

審査ノ結果第一部ニ於テ一等賞二點、二等賞九點、三等賞十四點、四等賞二十五點、第二部ニ於テ一等賞三點、二等賞六點、三等賞十一點、四等賞十三點、第三部ニ於テ一等賞一點、二等賞三點、三等賞六點、四等賞四點、第五部ニ於テ一等賞一點、二等賞八點、三等賞二十點、四等賞十九點、第六部ニ於テ二等賞三點、三等賞四點、四等賞三點、第七部ニ於テ一等賞二點、二等賞二點、三等賞一點、四等賞二點、總計百八十五點ヲ選拔擬賞セリ。謹而褒賞ノ授與アラムコトヲ申請ス

昭和七年十月十七日

第七回九州聯合畜産共進會審査長

農林技師 横 屋 潤

告 辭

畜産當面ノ要務ハ時代ノ要求ニ基キ各種畜産物ヲ豊富ニ供給シテ國民ノ生活資源ヲ潤澤ナラシムルト共ニ軍需ノ充實ニ資シ又農業經營ノ改善合理化ニ資シテ農家經濟ノ進展ニ寄與スルニ在リ今ヤ經濟界ノ不況頗ル深刻ニシテ各方面ニ於テ其ノ難局打開ヲ高唱セラレ就中農村經濟ノ更生ハ實ニ刻下ノ緊急問題トシテ朝野共ニ銳意努力ヲ怠ラサル所ニシテ之カ對策中畜産ノ普及振興ニ俟ツヘキモノ亦尠少ナラサルナリ而シテ今回ノ出品ハ其ノ資質概ネ優良ニシテ前回ニ比シ一般ニ向上進歩ノ蹟歴然タルモノアルハ深ク欣幸トスル所ナリト雖克ク畜産ノ機能ヲ發揮センカ爲ニハ尙一段ノ發達ヲ要スヘシ

由來九州ハ本邦屈指ノ畜産地ニシテ殊ニ此ノ非常時ニ際シテハ一層地方畜産ノ振興ニ嚮望スル所甚大ナルモノアリ冀クハ關係者各位將來益協心戮力シテ斯業ノ改善ニ盡瘁シテ其ノ隆昌ヲ期シ以テ國力ノ増進ニ寄與セラレムコトヲ一言述ヘテ告辭トス

昭和七年十月十七日

農林大臣 後藤 文 夫

祝 辭

第七回九州聯合畜産共進會褒賞授與式ノ盛典ニ參列スルノ光榮ヲ得タルハ深ク欣幸トスル所ナリ

惟フニ畜産ハ農業經營上將又國防及國民生活上極メテ重要ナル産業ニシテ之カ盛衰ハ直チニ國家經濟ノ消長ニ至大ノ關係ヲ有ス而シテ畜産物ノ需要ハ逐年激増シツ、アルニ拘ラス本邦ノ生産ハ之ヲ充タスニ足ラス海外ニ多大ノ供給ヲ仰クノ現狀ニアルハ甚タ遺憾トスル所ナリ此ノ秋ニ當リ本會ノ開設ヲ見タルハ寔ニ機宜ノ施設ニシテ本邦畜産業ノ發展ニ裨益スル所大ナルモノアルヲ信ス希クハ當業者諸氏審査ノ實績ニ鑑ミ爾今一層斯業ノ改良増殖ニ努メ以テ本會開設ノ趣旨ニ副ハムコトヲ一言陳ヘテ祝辭トナス

昭和七年十月十七日

聯合縣知事總代

長崎縣知事 鈴木 信太郎

祝 辭

第七回九州七縣聯合畜産共進會審査終了ヲ告ケ褒賞授與ノ盛典ヲ舉行セラル、ニ

當リ一言祝辭ヲ述フルハ寔ニ欣幸トスル所ナリ
 惟フニ今ヤ我國内外ノ時局極メテ重大ニシテ之ニ備フルニ産業ノ充實特ニ之レカ
 大本ヲ成ス農業組織ニ重要ナル地位ヲ占ムル我畜産ノ使命益々大ナルモノアリ此
 ノ秋ニ於テ西部日本ノ中樞佐賀市ニ九州七縣ノ良畜ヲ網羅シ關係當業者ノ對比攻
 究ニ供ヘ以テ有畜農業構成ノ指針ニ資セラル、ハ寔ニ機宜ヲ得タルモノト謂フヘ
 シ當業者諸士宜シク審査ノ成績ニ鑑ミ探長補短以テ一ハ農家經濟ノ改善ニ將又國
 防ノ充實ニ國家ノ要望ヲ荷ヒ益々研鑽努力セラレンコトヲ一言以テ祝辭トス

昭和七年十月十七日

中央畜産會

會頭伯爵 堀田正恒

祝辭

本日ヲトシ第七回九州聯合畜産共進會褒賞授與ノ式典ヲ舉行セラル洵ニ慶祝ニ堪
 ヘサルナリ

現今我國ハ内外共ニ非常ノ難局ニ際會シ經濟界ノ逼迫甚シク就中農村ノ疲弊其ノ
 極ニ達シ今ニシテ速ニ振興ノ對策ヲ講スルニアラスムハ國本産業ハ逐ニ衰微頽廢
 ニ至ラムコトヲ虞ル而テ之カ振興更生ノ途一ニシテ足ラスト雖畜産ノ普及發達ヲ
 促シ農業ノ經營ヲ革新シ以テ其ノ合理化ヲ圖ルヨリ急ナルハナシ九州諸縣茲ニ見
 ル所アリ萬難ヲ排シテ本會ヲ開催シ各縣代表ノ種畜並畜産關係品ヲ出陳シ當事者
 ノ比較對照ニ供ヘ以テ其ノ改良進歩ニ資スルト共ニ大ニ其ノ意氣ヲ振作シ且ツ汎
 ク畜産思想ノ普及啓發ニカメラル洵ニ機宜ノ施設トイフヘク本協會亦家畜保險大
 會馬事展覽會及馬利用演會ヲ開キ此カ翼賛ノ意ヲ表シタリ
 本會ハ回ヲ重ヌルコト既ニ七回克ク改善ノ功績ヲ收メ面目年ト共ニ新ナルモノア
 リ更ニ宜ク本會開催ノ趣旨ヲ明ニシ戮力奮勵以テ斯業ノ發達ニ貢獻シ農村ノ隆昌
 ニ寄與セラレムコトヲ一言以テ祝辭トス

昭和七年十月十七日

社団法人 帝國馬匹協會

會頭伯爵 松平頼壽

祝辭

第七回九州聯合畜産共進會審査結了ヲ告ケ茲ニ本日ヲ以テ褒賞授與ノ盛典ヲ舉行
 セラル、ニ方リ一言所懷ヲ述フルコトヲ得ルハ洵ニ欣幸トスル所ナリ

第九儀式

一八七

惟フニ畜産ハ我カ重要産業ノ一ニシテ農業經營上必須ノ要素タルハ論ヲ俟タス特ニ其ノ生産品ハ衣食ノ資料トシテ缺クヘカラサルモノアルノミナラス國民經濟上及國防上重大ノ關係ヲ有シ之カ振興ヲ圖ルハ最モ緊要ノコトナリトス
今ヤ農村ノ困憊其ノ極ニ達シ朝野之カ匡救對策ニ苦心シ既ニ政府ニ於テモ非常ノ決心ヲ以テ著々之カ匡救更生ノ實行ヲ圖リツ、アリト雖モ我農村窮迫ノ病根ハ深クシテ其ノ根本タル農業經營ヲ改善シ農村勞力ヲ善用シ多角農業ノ實行有畜農業經營ノ普及發達ヲ圖リ畜力及自給肥料ノ利用ト相俟ツテ生産物ニ依ル收入ノ増加ヲ圖ルハ蓋シ最モ適切ナル方策ナリト信ス
此ノ秋ニ當リ九州各縣聯合畜産共進會ヲ開催シ各縣ノ牛馬緬羊豚鶏ヲ出品シ其ノ優劣ヲ定メ以テ之カ改良發達ヲ期セラル、ハ洵ニ機宜ニ適シタル施設ナリト謂フヘシ
由來九州ハ其ノ開發古ク夙ニ牛馬豚鶏等ノ先進畜産地タルモ他地方ニ比シ更ニ進展ノ餘地大ナルモノアリ今ヤ本共進會ノ回ヲ重ヌルコト七回ニ及ヒ益々良好ナル成績ヲ見ルニ至リタルハ當局各位ノ指導宜シキト當業者各位ノ努力トニ依ルモノニシテ受賞者各位ノ榮譽ニ對シ慶賀ニ堪エサル所ナリ

然リト雖猶更ニ改良發達ヲ要スヘキ點多キハ審査長ノ報告ニ依リ明カナルヲ以テ關係者各位ハ一層之カ普及發達ニ努メ以テ本會開催ノ目的ヲ達成セラレンコト切望ノ至ニ堪エス一言蕪辭ヲ述ヘテ祝辭トス

昭和七年十月十七日

社團法人養鶏組合中央會

會 頭 岡 本 英 太 郎

祝 辭

本日國祭日ノ佳辰ヲトシ第七回九州聯合畜産共進會褒賞授與式ヲ舉行セラル、ニアタリ不肖席末ニ列シ一言祝辭ヲ呈スル事ヲ欣幸ト致シマス
畜産カ合理的農業經營ノ要素トシテ又戰時タルト平時タルトヲ問ハス國防充實ノ機關トシテ最モ重要ナルノミナラス國民ノ健康増進上必須缺クベカラサル重要産米ノ一テアル事ハ申ス迄モアリマセス

九州各縣當局並ニ當業者各位茲ニ見ル所アリ早クモ二十幾年前九州聯合畜産共進會ヲ組織セラレ關係各縣ヲ一巡シテ第一次計畫トモ申スヘキ共進會カ一段落ヲ遂ケ茲ニ盛大ナル第七回目ノ褒賞授與式ヲ舉行サレルニ至リマシタカ入賞ノ家畜ハ

實ニ九州畜産ノ粹ヲ集メタモノデ著シキ進歩發達ノ跡カアルトイフ事ヲ承ハリ誠ニ同慶ノ念ニ堪エナイ次第デアリマス
思フニ畜産業ノ發達ハ學理ト經驗トノ一致ニヨツテ得ラル、モノデアリマスカ更ニ家畜ニ對スル愛モ亦最モ必要テアルカト思ヒマス我カ佐賀ノ誇トスル鍋島論語葉隱ノ祖述者山本常朝先生ノ父神右衛門氏ハ非常ニソノ馬ヲ愛護シ常ニ厩ノ前ニ自己ノ居室ヲ設ケテ起居シ自分ハ玄米ヲ食シ乍ラ馬ニハ上白米ヲ食ヘサセタトイフ事デアリマス此ノ家畜愛ノ觀念カアツテコソ始メテ完全ナル畜産業ノ發達カ期セラル、ト信シマス
願クハ各縣當局並ニ當業者各位カ連帶的事業トシテ九州ノ畜産トイフ觀念ニ立脚シ今後益々協力一致以テ一層斯業ノ改良増殖ニ努メラレンコトヲ希望シテ止マナイノデアリマス聊カ所懐ヲ述ヘテ祝辭ト致シマス

昭和七年十月十七日

佐賀縣會議長 野口勘三郎

祝辭

畜産ノ振否ハ國富民力ノ進展ヲトスルニ足ル今茲ニ第七回九州聯合畜産共進會衰

賞授與ノ盛典ニ列スルノ光榮ヲ荷ヒ我九州畜産界ノ進歩頗ル著大ナルヲ見國家ノタメ慶賀ニ堪ヘサルナリ
然リト雖モ之レヲ我國畜産業ノ現況ニ鑑ミ將來尙改善スヘキ點尠シトセス宜シク官民一致斯業ノ發達ニ努メ國威ノ發揚ト國富ノ増進ニ資セサルヘカラス之レヲ祝詞トス

昭和七年十月十七日

九州各縣畜産組合聯合會總代

宮崎縣畜産組合聯合會會長 野邊幾衛

祝辭

第七回九州聯合畜産共進會審査了ヲ告ゲ茲ニ褒賞授與ノ盛典ヲ舉行セラル、ニ當リ其席末ニ列スルヲ得タルハ本職ノ深ク光榮トスル所ナリ
惟フニ畜産ノ改良増殖ハ致富厚生ノ要道ニシテ之カ盛衰ハ直ニ國家經濟ニ重大ノ關係ヲ有ス
而シテ現下我國ノ狀勢ハ内外共ニ多事多難ニシテ外ニハ國際懸案ノ横ハルアリ内ニハ未曾有ノ經濟界ノ不況ニ遭遇シ一層斯業ノ改良與振ヲ俟ツモノアルヲ痛感ス這般會ニ出陳セルモノ牛馬羊豚將タ鶏種ニ優良ノモノ尠カラスシテ其ノ進歩

ノ度著シキモノアルヲ見ル邦家ノタメ慶賀ニ堪ヘサルナリ
然リト雖モ今審査ノ成績ヲ見ルニ時勢ノ進運ニ伴ヒ尙改善進歩ノ餘地多キモノアルヲ認ム冀クハ當業者諸氏宜シク審査ノ成績ニ鑑ミ將來益々斯業ノ改良發展ヲ企畫シテ國家産業ヲ振興シ以テ國運ノ隆昌ニ資シ本會開設ノ主旨ヲ全フサレンコトヲ聊カ所感ヲ述ヘテ祝辭トナス

昭和七年十月十七日

佐賀縣農會長 菊池 龍太郎

祝 辭

第七回九州聯合畜産共進會ハ多大ノ盛況ヲ收メテ本市ニ般賑ヲ添ヘラレ本日茲ニ褒賞授與ノ式典ヲ舉行セラルルハ市民ト共ニ欣幸トスル所ナリ
惟フニ我九州ノ地タル畜産地トシテ天然ノ惠澤ニ富ミ官民亦一致協力シテ之カ振興ヲ期セラレ其成績顯著ナルモノアルハ洵ニ慶賀ニ堪ヘサルナリ
然リト雖モ邦家ノ期待ニ副フハ前途尙遼遠ニシテ一層ノ奮勵ヲ希ハサルヲ得ス
庶幾ハ關係者諸氏宜ク審査ノ成績ニ鑑ミ採長補短研鑽努力以テ斯業ノ大成ヲ期セ

ラレンコトヲ一言以テ祝辭トス

昭和七年十月十七日

第七回九州聯合畜産共進會
佐賀市協賛會長 佐賀市長 横 尾 敬 義

答 辭

本日ヲトシ第七回九州聯合畜産共進會褒賞授與式ヲ舉行セラレ多數貴賓ノ來臨ヲ辱ウシ懇篤ナル訓諭ヲ賜ハル出品人一同寔ニ感激ニ堪ヘス將來倍々奮勵シテ斯業ノ開發ニ力ヲ致シ以テ高論ニ背カサラムコトヲ期ス
謹而出品人一同ニ代リ答辭ヲ述フ

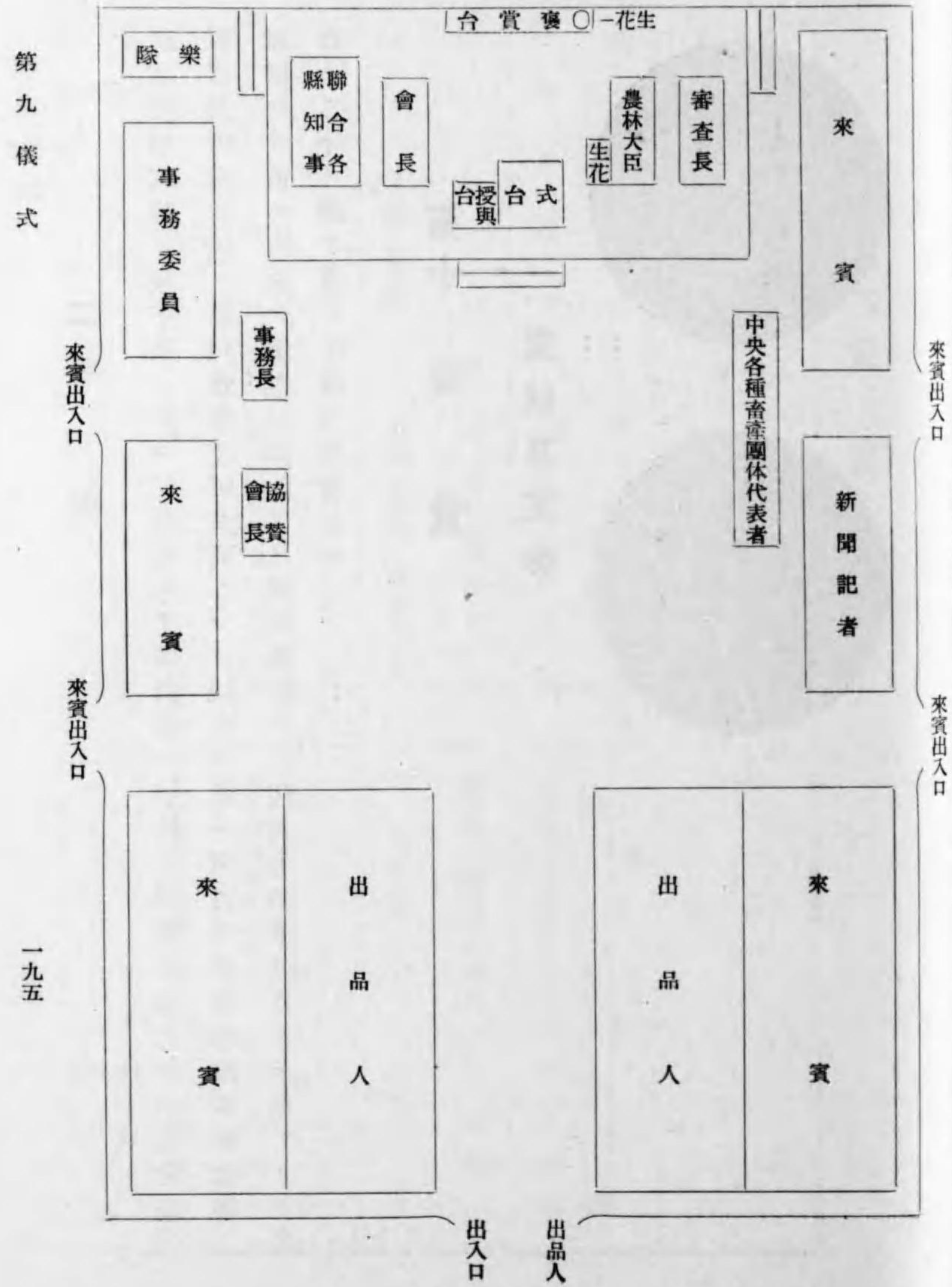
昭和七年十月十七日

第七回九州聯合畜産共進會出品人總代
佐賀縣東松浦郡打上村 原 野 平 太 郎

褒賞授與式祝電

本日ノ御盛典ヲ祝ス 大阪府知事 縣 忍
御盛典ヲ祝シ各位ノ御丹精ニ對シ遙カニ敬意ヲ表ス 兵庫縣知事 白 根 武 介

褒賞與式場



第九儀式

一九五

事務報告
 御盛會ヲ祝ス
 御盛會ヲ祝ス
 盛會ヲ祝ス
 盛大ナル褒賞授與式ヲ祝ス
 盛典ヲ祝ス
 盛會ヲ祝ス
 畜産業ノ發達ヲ祈リ祝意ヲ表ス
 御盛典ヲ祝ス
 本日ノ御盛典ヲ祝シ其ノ成績ニ鑑ミ益々當業者諸氏ノ御努力ヲ祈ル
 御盛典ヲ祝ス

二式場

式場ノ設備ハ開會式ト略同一ニシテ席ノ配置左圖ノ如シ

一九四
 林田福島種馬所長
 影山十勝種馬所長
 膽振種馬所長 鹿島恒
 小倉市長
 鳥取縣西伯郡畜産組合
 大分縣大野郡清田友市
 森 肇
 宮崎縣 荒川岩吉
 大阪朝日新聞社
 島原新聞社

三 饗宴

褒賞授與式終了後午後一時ヨリ來賓一千四百名ハ引續キ別席ニ設ケタル宴會場(佐賀市公會堂)ニ於テ早川知事主催者側トシテ挨拶ヲ述ヘ來賓代表鈴木熊本縣知事ノ謝辭アリ直ニ立食ノ饗應ニ移リ其ノ間演舞壇ニハ佐賀券番藝妓連ノ手踊アリテ各自十二分ノ歡ヲ盡シ午後三時散會セリ

第十 褒賞

一、賞狀及賞牌



二、受賞者

第一部 種牛				農林省金牌 賞金七拾圓				農林省銀牌 賞金四拾圓					
種	類	性	名號	生年	月	毛色	住	出	所	品	氏	人	名
改良和種	牡	白	榮	昭和五年五月		褐	熊本縣上益城郡白糸村				小山	廣	記
改良和種	牡	白	榮	昭和五年五月		褐	熊本縣上益城郡白糸村				小山	廣	記
改良和種	牡	光壽	昭	昭和六年一月		褐	熊本縣阿蘇郡波野村				家入	熊	平
改良和種	牡	光壽	昭	昭和六年一月		褐	熊本縣阿蘇郡波野村				家入	熊	平
改良和種	牡	大觀	昭	昭和五年八月		黑	大分縣大野郡柴原村				廣瀬	清	忠
改良和種	牡	大觀	昭	昭和五年八月		黑	大分縣大野郡柴原村				廣瀬	清	忠
改良和種	牡	玄海	昭	昭和六年四月		同	鹿兒島縣揖宿郡指宿村				秋元	直	助
改良和種	牡	玄海	昭	昭和六年四月		同	鹿兒島縣揖宿郡指宿村				秋元	直	助

四等賞

褒狀

二十五名

種	類	性	名號	生年月	毛色	住	出	所	品	氏	人	名
改良和種		牡	三四北沖	昭和六年一月	黒	大分縣西國東郡吳崎村				石掛	政吉	
同		同	近正二八	昭和五年十二月	同	大分縣西國東郡吳崎村				近藤	喜兵	
同		同	龜山二八	昭和五年八月	同	大分縣大野郡白山村				眞名井	龜五郎	
同		同	豊山	昭和六年四月	同	鹿兒島縣薩摩郡西水引村				堂脇	定次	
同		同	久藤	昭和六年一月	同	鹿兒島縣揖宿郡指宿村				中村	市五郎	
同		同	第二北神	昭和六年三月	同	長崎縣北松浦郡平戸町				北松浦郡畜産組合		
同		同	榮第十四福	昭和五年十二月	同	長崎縣南松浦郡福江町				五島種牡牛組合 代表者 清藤泰藏		
同		同	積寶	昭和六年四月	褐	熊本縣球磨郡大村				球磨郡畜産組合		
同		同	二光	昭和六年一月	同	熊本縣阿蘇郡宮地町				阿蘇郡畜産組合		

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
朝西	萬福	白雪	セツ	立花	ヨシ	サクラ	キヨ	第三錦	佐章	第二丸	牝	
昭和五年一月	昭和六年三月	昭和六年一月	昭和六年四月	昭和五年八月	昭和五年九月	昭和五年九月	昭和五年十月	昭和五年三月	昭和五年八月	昭和六年一月		
同	黒	同	褐	同	同	同	同	同	同	黒		
佐賀縣東松浦郡打上村	佐賀縣東松浦郡湊村	熊本縣菊池郡津田村	熊本縣球磨郡湯前村	長崎縣南松浦郡富江町	長崎縣南松浦郡富江町	鹿兒島縣始良郡東襲山村	鹿兒島縣噲噉郡志布志町	大分縣玖珠郡野上村	大分縣大野郡牧口村	大分縣大野郡新田村		
北村長太郎	神田治三郎	士野龜太郎	田中末吉	立花丑藏	出口末吉	桐原仙次郎	西清市	篠原菊治	關谷春喜	三浦甫		

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同		
種	類	性	名號	生年月	毛色	住	出	所	品	氏	人
同	ホルスタイン種	同	ハル	昭和六年四月	同	宮崎縣東諸縣郡綾村	楠本	榮			
同	同	同	サクラ	昭和六年二月	同	宮崎縣西諸縣郡須木村	八重尾	仲之助			
同	同	同	香月	昭和六年二月	同	福岡縣田川郡香春町	進	禮藏			
同	同	同	コロンブス フナシナ フナシ アイザック アイザック	昭和五年六月	白黒斑	佐賀縣西松浦郡大坪村	力武	源次			
同	同	同	コロンブス フナシナ フナシ アイザック アイザック	昭和五年三月	黒白斑	福岡縣門司市	酒井	悦次郎			

第二部 種 馬 乗用

壹等賞

農林省金牌 賞金貳百拾圓

一名

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同		
種	類	性	名號	生年月	毛色	住	出	所	品	氏	人
同	内國産サラブレット種	牝	第三 キヌトビ ツト	昭和四年四月	鹿	鹿兒島縣始良郡敷根村	福永	盛吉			
同	内國産洋種	同	三松	昭和四年三月	栗	宮崎縣東臼杵郡東海村	松田	眞佐吉			

貳等賞

農林省銀牌 賞金百拾圓

二名

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同		
種	類	性	名號	生年月	毛色	住	出	所	品	氏	人
同	内國産サラブレット種	牝	第三 キヌトビ ツト	昭和四年四月	鹿	鹿兒島縣始良郡敷根村	福永	盛吉			
同	内國産洋種	同	三松	昭和四年三月	栗	宮崎縣東臼杵郡東海村	松田	眞佐吉			

參等賞

農林省銅牌 賞金六拾圓

三名

四等賞

農林省銀牌 賞金六拾圓

四名

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同		
種	類	性	名號	生年月	毛色	住	出	所	品	氏	人
同	内國産サラブレット種	牝	第三 キヌトビ ツト	昭和四年四月	鹿	鹿兒島縣始良郡敷根村	福永	盛吉			
同	内國産洋種	同	三松	昭和四年三月	栗	宮崎縣東臼杵郡東海村	松田	眞佐吉			

雜種	同	千島	昭和五年四月	栗	鹿兒島縣熊毛郡中種子村	山元菊志
內國產洋種	同	サイフリ ヤード	昭和五年四月	鹿	鹿兒島縣鹿兒島郡谷山町	上村 十右衛門

第二部 種 馬 輕輓用
農林省金牌 賞金貳百拾圓

二名

種類	性	名號	生年月月	毛色	住 出 所 品	氏 人 名
安グロノルマン雜種	牝	住ノ江	昭和五年四月	鹿	長崎縣南高來郡大三東村	吉本虎治
同	同	第四菊丸	昭和四年二月	同	熊本縣菊池郡合志村	松永 三太郎
同	同	第四如月	昭和四年四月	鹿	熊本縣菊池郡平眞城村	高村 豊
同	牝	吉丸	昭和四年三月	栗	長崎縣南高來郡大三東村	柴田 三九郎
安グロノルマン雜種	牝	新珠	昭和三年三月	栗	佐賀縣小城郡小城町	大坪 初太郎
同	同	トリエ	昭和三年三月	黒鹿	宮崎縣兒湯郡都農町	小島 傳一

貳等賞

農林省銀牌 賞金百拾圓

四名

種類	性	名號	生年月月	毛色	住 出 所 品	氏 人 名
內國產洋種	牝	第六春雨	昭和四年四月	鹿	熊本縣阿蘇郡色見村	安方三治
安グロノルマン雜種	同	初綠	昭和四年三月	栗	長崎縣南高來郡深江村	渡邊 戸三郎
內國產洋種	同	菊	昭和五年三月	青	熊本縣菊池郡陣内村	倉岡 改藏
安グロノルマン雜種	同	第三花桐	昭和三年四月	青	大分縣直入郡阿蘇野村	工藤 直喜
同	同	待受	昭和三年三月	栗	長崎縣南高來郡三會村	永田 清太郎
同	牡	ボール	昭和四年四月	鹿	宮崎縣北諸縣郡志和池村	馬渡 猛男
同	牝	カルロ	昭和五年三月	栗	長崎縣南高來郡深江村	福島 虎松

參等賞

農林省銅牌 賞金六拾圓

八名

同		第九龜齡		昭和四年四月		鹿		熊本縣菊池郡護川村		田代龜吉			
種		類		性		名號		生年月月		毛色			
同	內國產洋種	牝	秋山	昭和四年三月	栗	宮崎縣兒湯郡川南村	江藤惠盛	同	第一玉藤	昭和四年二月	鹿	熊本縣菊池郡護川村	大村軍喜
同	安グロノルマン雜種	同	日ノ出	昭和四年三月	栗	長崎縣南高來郡三會村	稻田兼松	同	寶玉	昭和四年五月	鹿	大分縣直入郡宮城村	今村濱夫
同	內國產洋種	同	チドリ	昭和四年三月	同	宮崎縣西諸縣郡加久藤村	柳田盛親	同	春風	昭和五年三月	同	熊本縣上益城郡大島村	岩本重雄
同	雜種	同	初菊	昭和四年二月	栗	佐賀縣佐賀郡久保田村	下平多作	同	第三春曉	昭和四年四月	同	大分縣玖珠郡飯田村	執行庄三

雜種		同		第三寶		昭和五年三月		鹿		熊本縣菊池郡花房村		岡本末喜	
種		類		性		名號		生年月月		毛色		住出品所氏人名	
同	コリーデール種	牝	菊花	昭和六年四月	白	熊本縣菊池郡西合志村	緒方剛	同	壹等賞	農林省金牌 賞金參拾圓	一名	熊本縣菊池郡花房村	岡本末喜
同	コリーデール種	牝	五六一	昭和六年四月	白	熊本縣菊池郡菊池村	菊川均	同	貳等賞	農林省銀牌 賞金拾五圓	三名	熊本縣菊池郡清泉村	井上武德
同	ラムプーイエメリノ種	同	四	昭和六年三月	同	熊本縣北諸縣郡庄內町	坂元英俊	同	參等賞	農林省銅牌 賞金拾圓	六名	宮崎縣北諸縣郡庄內町	坂元英俊

種	類	性	名號	生年月	毛色	住	出	所	品	氏	人
同	同	牝	二〇	昭和六年三月	白	熊本縣菊池郡西合志村	濱田	光保	氏	名	
同	同	同	杖立	昭和五年四月	同	熊本縣阿蘇郡北小國村	河津	秋壽	氏	名	
同	同	同	K六五	昭和六年三月	同	熊本縣鹿本郡櫻井村	松村	英記	氏	名	
同	同	同	玉名	昭和六年四月	同	熊本縣玉名郡春富村	金栗	武次	氏	名	
同	同	同	平八神	昭和五年四月	同	長崎縣北松浦郡平戸町	畑原	三八	氏	名	
同	同	牝	福島二	昭和六年三月	同	宮崎縣南那珂郡福島町	鈴木	善四郎	氏	名	
同	同	牝	熊	昭和六年四月	白	熊本縣菊池郡西合志村	池田	殘	氏	名	
同	同	牝	一ラ五メ	昭和六年三月	同	長崎縣南高來郡深江村	岩永	虎男	氏	名	

四等賞

褒状

三名

濠洲メリノ種

第六

昭和五年一月

同

鹿兒島縣熊毛郡西之表町

中島ムラ

第四部種

豚

壹等賞

農林省金牌 賞金參拾圓

一名

種

類

性

名號

生年月

毛色

住

出

所

品

氏

人名

ヨークシャー種

牝

第千二葉壹號

昭和六年八月

白毛

大分縣西國東郡吳崎村

森若宗十

貳等賞

農林省銀牌 賞金拾五圓

四名

種

類

性

名號

生年月

毛色

住

出

所

品

氏

人名

ヨークシャー種

牝

初第十五號

昭和六年十二月

白毛

福岡縣粕屋郡青柳村

山鹿廣太郎

パークシャー種

同

ツル號

昭和六年十二月

黒毛

宮崎縣都城市大王町

柿元太平次

ヨークシャー種

同

大正六號

昭和六年九月

白毛

大分縣西國東郡高田町

井尻喜八郎

パークシャー種

同

白萩號

昭和六年十月

黒毛

鹿兒島縣川邊郡枕崎町

中村幸夫

參等賞

農林省銅牌 賞金拾圓

八名

種	類	性	名號	生年月	毛色	住	出	所	品	氏	人
ヨークシャー種		牝	岸號	昭和六年五月	白毛	佐賀縣三養基郡基山村				岸	金四郎
同		同	秋水號	昭和六年十二月	同	佐賀縣三養基郡基山村				原	四三郎
同		同	いと號	昭和六年十二月	同	佐賀縣藤津郡鹿島町				池田	猪八
同		同	秋櫻號	昭和六年十月	黒毛	鹿兒島縣川邊郡枕崎町				有限責任枕崎町 養豚信用販賣購 買利用組合	
同		同	開聞號	昭和六年六月	同	鹿兒島縣掛甯郡額娃村				谷川	愛之助
同		牝	櫻峰號	昭和六年十月	同	鹿兒島縣鹿兒島郡西櫻島村				西櫻島養豚組合 代表者	
同		同	不知火號	昭和五年十二月	白毛	佐賀縣三食基郡北茂安村				久米	芳季
同		牝	滿號	昭和六年十二月	同	佐賀縣藤津郡鹿島町				諸永	甚作
四等賞 褒状 十一名											
種	類	性	名號	生年月	毛色	住	出	所	品	氏	人
ヨークシャー種		牝	第二吹雪號	昭和六年五月	白毛	福岡縣粕屋郡青柳村				澁田	健次郎
同		同	初雪號	昭和六年六月	同	福岡縣久留米市				早田	泰一
同		牝	敬號	昭和六年十二月	同	佐賀縣藤津郡鹿島町				梶山	敬一
同		同	立峰號	昭和六年十二月	同	佐賀縣藤津郡多良村				小峰	浦岐
同		同	第三藤號	昭和六年八月	同	長崎縣南松浦郡福江町				藤屋	茂三郎
同		同	第三 いろは號	昭和六年十一月	同	長崎縣北高來郡湯江村				大島	金五郎
同		同	天華號	昭和六年二月	同	熊本縣天草郡下浦村				吉田	千萬次郎
同		同	濱風號	昭和六年九月	黒毛	宮崎縣南那珂郡細田村				富下	彌市
同		牝	鳴門號	昭和六年十二月	白毛	宮崎縣東臼杵郡富高町				江藤	増治
同		牝	綠號	昭和六年九月	黒毛	鹿兒島縣川邊郡枕崎町				天達	松衛

種	類	性	名號	生年月	毛色	住	出	所	品	氏	人
ヨークシャー種		牝	第二吹雪號	昭和六年五月	白毛	福岡縣粕屋郡青柳村				澁田	健次郎
同		同	初雪號	昭和六年六月	同	福岡縣久留米市				早田	泰一
同		牝	敬號	昭和六年十二月	同	佐賀縣藤津郡鹿島町				梶山	敬一
同		同	立峰號	昭和六年十二月	同	佐賀縣藤津郡多良村				小峰	浦岐
同		同	第三藤號	昭和六年八月	同	長崎縣南松浦郡福江町				藤屋	茂三郎
同		同	第三 いろは號	昭和六年十一月	同	長崎縣北高來郡湯江村				大島	金五郎
同		同	天華號	昭和六年二月	同	熊本縣天草郡下浦村				吉田	千萬次郎
同		同	濱風號	昭和六年九月	黒毛	宮崎縣南那珂郡細田村				富下	彌市
同		牝	鳴門號	昭和六年十二月	白毛	宮崎縣東臼杵郡富高町				江藤	増治
同		牝	綠號	昭和六年九月	黒毛	鹿兒島縣川邊郡枕崎町				天達	松衛

同 同 初穂號 昭和六年十月 同 鹿兒島縣鹿兒島郡伊敷村 池田義高

第五部 種 鶏

壹等賞

農林省金牌 賞金貳拾圓

一名

種

類

性及羽數

生 年 月

住 出

所 品

氏 人

單冠白色レグホーン種

二羽番

昭和六年十二月

熊本縣八代郡太田郷村

秋野政行

貳等賞

農林省銀牌 賞金拾圓

八名

種

類

性及羽數

生 年 月

住 出

所 品

氏 人

單冠白色レグホーン種

二羽番

昭和六年十二月

熊本縣飽託郡田迎村

千場榮次

同

同

同

熊本縣球摩郡多良木町

宮本國藏

同

同

同

福岡縣京都郡諫山村

義經武俊

同

同

同

福岡縣戶知市

安川信雄

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同												
名	古	屋	種	同	昭	和	六	年	三	月	大	分	縣	大	分	市	尾	崎	計	介	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	昭	和	六	年	十	二	月	大	分	縣	東	直	入	郡	竹	田	町
同	同	同	同	同	昭	和	六	年	九	月	福	岡	縣	戶	知	市	藤	田	義	也	

參等賞

農林省銅牌 賞金五圓

二十名

種	類	性及羽數	生 年 月	住 出	所 品	氏 人														
單冠白色レグホーン種	二羽數	昭	和	六	年	十	二	月	大	分	縣	東	國	東	町	小	川	文	六	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
名	古	屋	種	同	大	分	縣	南	海	部	郡	下	堅	田	村	渡	邊	安	豆	平
同	同	同	同	同	大	分	縣	珠	球	郡	南	山	田	村	左	藤	吉	藏		
單冠白色レグホーン種	同	同	同	同	福	岡	縣	京	都	諫	山	村			義	經	チ	セ		
改	良	地	方	種	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
熊本縣下益城郡小野部田村					河	野	末	雄												

改良地方種	橫斑ブリマスロック種	同	同	同	宮崎縣西諸縣郡高原村	丸山直次
	單冠白色レグホーン種	同	昭和六年十月	福岡縣戶畑市	鹿兒島縣揖宿郡喜入村	海江田憲一郎
	名古屋種	同	昭和六年十二月	福岡縣三池郡高田村	福岡縣小倉市	安川信雄
	單冠白色レグホーン種	同	同	福岡縣小倉市	大分縣大分市	中山定吉
	名古屋種	同	同	大分縣大分市	鹿兒島縣揖宿郡喜入村	久山靜枝
	橫斑ブリマスロック種	同	昭和六年十一月	鹿兒島縣揖宿郡喜入村	福岡縣戶畑市	濱崎正太郎
	單冠白色レグホーン種	同	昭和六年九月	福岡縣戶畑市	鹿兒島縣揖宿郡喜入村	浦上武次郎
	橫斑ブリマスロック種	同	昭和六年十一月	鹿兒島縣揖宿郡喜入村	福岡縣浮羽郡吉井町	牧瀬武太郎
	單冠白色レグホーン種	同	昭和六年十二月	福岡縣浮羽郡吉井町	熊本縣下益城郡小川町	高石正儀
	改良地方種	同	同	熊本縣下益城郡小川町		平岡猪又

四等賞

褒状

十九名

單冠白色レグホーン種	同	同	同	熊本縣八代郡宮地村	村岡務
名古屋種	同	同	同	福岡縣朝倉郡大福村	調匡輔
單冠白色レグホーン種	同	昭和六年十二月	佐賀縣西松浦郡東山代村	佐賀縣西松浦郡東山代村	梶原竹次郎
同	同	同	長崎縣南高來郡口ノ津町	長崎縣南高來郡口ノ津町	加納力太郎
種類	性及羽數	生年月	住所	出品	人名
單冠白色レグホーン種	二羽番	昭和六年十二月	福岡縣山門郡大和村	福岡縣山門郡大和村	久富小市
同	同	同	佐賀縣西松浦郡大川村	佐賀縣西松浦郡大川村	原八十一
同	同	同	佐賀縣唐津市	佐賀縣唐津市	瀬川喜代治
同	同	同	佐賀縣杵島郡福富村	佐賀縣杵島郡福富村	瀬戸真治
同	同	同	長崎縣北高來郡湯江村	長崎縣北高來郡湯江村	中溝兵右衛門

名	古	屋	種	同	同	長崎縣長崎市	平井良一
單冠白色レグホーン種	同	同	同	同	熊本縣八代郡有佐村	野田敬三	
改良地方種	同	同	同	同	熊本縣下益城郡小川町	園田續	
單冠白色レグホーン種	同	同	同	同	大分縣東國東郡國東町	國廣豊隆	
名	古	屋	種	同	大分縣大分郡東大分村	利光一雄	
單冠白色レグホーン種	同	同	同	同	宮崎縣南那珂郡北郷村	長友幸芳	
名	古	屋	種	同	宮崎縣兒湯郡上穂北村	本部林	
橫斑ブリマスロツク種	同	同	同	昭和六年十一月	宮崎縣西諸縣郡高原村	朴木政盛	
同	同	同	同	同	宮崎縣西諸縣郡小林町	後藤重雄	
名	古	屋	種	同	鹿兒島縣肝屬郡高山町	市來武敏	
橫斑ブリマスロツク種	同	同	同	昭和六年十一月	鹿兒島縣揖宿郡喜入村	新納日郎	

第六部 畜産製造品
貳等賞 農林省銀牌

三名

同	同	同	同	同	鹿兒島縣揖宿郡喜入村	新納積彌
同	同	同	同	昭和六年十二月	鹿兒島縣揖宿郡喜入村	海江田益雄
同	同	同	同	同	鹿兒島縣揖宿郡喜入村	谷口市二

品	名	商標	產地	住出所氏名
ハ	ム	グルマ印	鹿兒島縣	鹿兒島縣鹿兒島市 久木田武二
ス	ム	㊦	宮崎縣	宮崎縣都城市 山元藤一
ポ	ム	八木下ハム	福岡縣	福岡縣八幡市 八木下道三

品	名	商標	產地	住出所氏名
參等賞 農林省銅牌				
四名				

品名	商標	產地	住出所品	氏人名
蜂 蜜	⑧	佐賀縣	佐賀縣神埼郡蓮池村	野田 甚六
ハ	⑩	鹿兒島縣	鹿兒島縣熊毛郡西之表町	有限責任種子島酪農販賣購買利用組合
同	◆	大分縣	大分縣大分市	大分牧畜株式會社
ハ	ライオン印	長崎縣	長崎縣長崎市	浦岡 倉松
品名	商標 <td>產地</td> <td>住出所品</td> <td>氏人名</td>	產地	住出所品	氏人名
蜂 蜜		佐賀縣	佐賀縣佐賀郡西川副村	坂田 暉雄
同	阿蘇山印	熊本縣	熊本縣阿蘇郡永水村	阿蘇養蜂組合代表者 寺西徳長
鹽 豚		佐賀縣	佐賀縣藤津郡多良村	白水 辰一

第七部 畜産ニ關係アル農具及器具機械

壹等賞

農林省金牌

二名

品名	商標	產地	住出所品	氏人名
犁 耕 犁	昭代	福岡縣	福岡縣福岡市	磯野 七平
深 耕 犁	日の本號 第三號	熊本縣	熊本縣上益城郡御船町	合名會社 東洋社
品名	商標	產地	住出所品	氏人名
長 式 深 耕 犁		福岡縣	福岡縣粕屋郡多々良村	長 末吉
犁 新 三 日 月 號	①	熊本縣	熊本縣球磨郡人吉町	指宿 武夫

貳等賞

農林省銀牌

二名

參等賞

農林省銅牌

一名

四等賞

褒狀

二名

第十褒賞

品名	商標	產地	出品所		氏名
			住	所	
田用	㊀	鹿兒島縣	鹿兒島縣日置郡阿多村		藤崎精二
犁	㊁	宮崎縣	宮崎縣西諸縣郡小林町		今村熊吉

三、畜産功勞者

功勞賞

銀杯

長崎縣壹岐郡香椎村

勳六等 本土 德衛

右者夙ニ畜牛業ノ重要ナルヲ覺リ私財ヲ吝マズ率先優良種牛ノ改良増殖ニ力ヲ竭スコト多年又克ク産牛ノ販路ノ開拓ニ務メ又郡畜産組合ノ設立ニ腐心シテ其ノ成ルヤ樞機ニ參シテ拮据經營克ク其ノ實績ヲ舉ゲ又家畜保險組合ノ設置ニ盡瘁シ其ノ事業ノ擴充ニ専念スル等地方産牛業ノ振興ニ寄與スル所多大ニシテ其ノ功勞賞スベシ仍テ道府縣聯合共進會規則第九條ニ依リ茲ニ之ヲ授與ス

昭和七年十月十七日

農林大臣

四、副賞

イ、本會副賞

本會ハ畜産共進會出品第六部及第七部ノ入賞者ニ對シ左記ノ通り副賞トシテ賞金ヲ授與セリ

- | | |
|-----|---------|
| 一等賞 | 該當ノモノナシ |
| 二等賞 | 賞金拾圓 |
| 三等賞 | 賞金五圓 |
| 一等賞 | 賞金貳拾五圓 |
| 二等賞 | 賞金拾五圓 |
| 三等賞 | 賞金拾圓 |

ロ、其ノ他ノ副賞

本會開催ノ舉ヲ賛シ入賞者ニ對シ副賞トシテ左記ノ通贈與シ其ノ名譽ヲ表彰セラレタリ

第十褒賞

寄贈者	副賞品	摘	要
中央畜産會	賞章及賞狀	牛馬豚綿羊ノ一、二、三等賞	
帝國競馬協會	賞狀及賞金四百拾圓	馬一等賞輕種中間種ハ百二十圓、重種ハ八拾圓、二等賞筆頭馬ノ輕種中間種ハ八拾圓、重種ハ五拾圓	
養鶏組合中央會	賞章及賞品	鶏二等賞以上ニ賞章各壹個宛三等賞ハ賞品各壹個宛	
大阪朝日新聞社	木杯拾參個	牛馬豚綿羊鶏ノ一等賞ニ各壹個宛	
熊本縣綿羊組合聯合會	金屬製酒器壹個	綿羊一等賞	

五、賞典

寄贈者

帝國馬匹協會 優勝額壹個

馬ノ受賞成績優良ナル縣畜産組合聯合會ニ寄贈セラレ
ルモノニシテ右ハ長崎縣畜産組合聯合會ニ贈ラレタリ

鹿兒島新聞社 優勝旗二旒

右ハ長崎縣主催第六回九州聯合畜産共進會開催ニ關スル第四回協議會ニ於テ
左記ノ通決定セル條項ニ準據シ牛ハ大分縣馬ハ長崎縣ニ授與セラレタリ

記

- イ、一等賞ヲ得テ入賞歩合ノ善キ縣ニ授與スルコト
- ロ、若シ同點ナルトキハ出品頭數ノ多キ縣ニ授與スルコト
- ハ、尙同點ナルトキハ抽籤ニ依ルコト

第十一 景况

會場ハ佐賀市城内元刑務所跡地六千八百餘坪ヲ以テ充テタリ此ノ地ハ佐賀驛ヨリ南方二十町ニシテ主要道路ニ接シ市街バスノ便アリテ出品物ノ搬出入及參觀人ノ來往ニ頗ル便利ナリ

正門ヲ入リテ正面ニ會場全般ノ見取圖ヲ立看板トシ一目シテ各種建物ノ所在ヲ明カニシ受付獸醫師詰所事務所宿直室審査官室赤十字救護班事務所警官詰所郵便局出張所消防員詰所各縣休憩所畜産製造品及農具器具機械陳列館厩舎牛舎豚舎綿羊舎各縣別出品人合宿所炊事場飼料販賣所飼料調理所鶏舎審査場等ヲ適當ニ配置シ場外ニ飲食店賣店携帶品預リ所等軒ヲ列ネテ設ケラレタリ

各建物ノ屋上ニハ國旗ヲ建テ各種畜舎ノ前ニハ軒端ニ縣名旗ヲ掲ケ各縣ノ區別ヲ明カニセリ而シテ要所ニ電燈ヲ裝設シ動物ノ保護飼養管理其ノ他ノ警護ニ便ナラシメタルヲ以テ夜間ハ數百ノ電燈輝キ美觀ヲ呈セリ

會期中ハ連日天氣快晴ニシテ遠近ヨリノ參觀人ハ常ニ場内ニ溢レ特ニ第六日ハ恰モ國祭日ニ相當シタルト褒賞授與式舉行ノ爲メ各種團體學校生徒一般參觀人等陸續トシテ入場シ異常ノ盛況ヲ呈シ最モ有意義ニ閉會スルコトヲ得タリ

第十二 廣告及割引

一、廣告

九州全土ノ畜産ヲ紹介シ多數ノ來觀者ヲ誘致シ本會ノ開設ヲ一層有効ナラシムル目的ヲ以テ開會約一ヶ月前ヨリ左記ポスター一千枚ヲ印刷シ九州各縣及鐵道各主要驛ニ送付シ掲載方ヲ依頼セリ



● 公期十月二十七日

● 授與式十月十七日

第七
九州
畜産
博覧會
ポスター

配布數

農林省	二枚
聯合各縣	七五〇枚
中央諸團體	三枚
鐵道各驛	三一枚
主催縣內	二二四枚
計	一、〇〇〇枚

二、割引

本會ハ出品人出品動物及關係役員ノ往復ニ便センガ爲メ九州省線及諸會社汽車汽船及佐賀市内自動車會社ニ對シ乗車船賃及出品物運賃ノ割引ヲ交渉シ左記割引率ノ承諾ヲ得テ之ガ割引證ヲ發行シ關係者ヘ配付セリ

注 意

一 本證ハ佐賀縣主催第七回九州聯合畜産共進會出品人、審査員及出品事務ヲ直接掌管スル役員ニ限リ使用シ得ルモノニシテ番號及使用者ノ氏名ヲ記入シテ交付スルモノトス

二 本證ニ依リ割引セラレキ區間、期間及乗車券通用期間ハ左ノ如シ但シ二、三等往復乗車券ニ限ル

割引區間
九州線各驛及九州内所在社線各運帶驛ヨリ佐賀驛行

割引期間
自昭和七年九月二十七日
至昭和七年十月十七日

乗車券
發賣ノ日ヨリ 昭和七年十月三十一日迄
通用期間

三 本證ハ記名人以外ノ者之ヲ使用スル事ヲ得ズ

四 本證ニ依リ購求シタル割引乗車券ハ他人ニ譲渡シ又ハ他人之ヲ使用スル事ヲ得ズ

五 本證記載事項ヲ訂正シタル場合ニ於テハ左ノ證明アルモノニ限リ之ヲ有効トス

(一) 發行者ノ記入スベキ事項ニ付テハ發行者ノ認印

(二) 使用者ノ記入スベキ事項ニ付テハ使用者ノ認印

第 號 (對九月七日門鐵達乙第八四號)

旅客運賃割引證 (產共進會)

乘車船區間	自 驛 往 復 至 佐 賀 驛
住所氏名	
年 齡	當 年
乘車船等級	二 等
割引率	割

注 意

一 本證ハ佐賀縣主催第七回九州聯合畜産共進會出品人、審査員及出品事務ヲ直接掌管スル役員ニ限リ使用シ得ルモノニシテ番號及使用者ノ氏名ヲ記入シテ交付スルモノトス

二 本證ハ大阪商船株式會社ノ航路ニシテ左ノ區間ニ限リ自昭和七年九月二十日ヨリ至同年十月三十一日期間定額運賃一割ノ割引トス

名 稱 瀨 港 及 寄 港 地 ヲ 麗 兒 島 至 此 區 間 (往 復 共)

三 本證ハ記名人以外ノ者之ヲ使用スル事ヲ得サルモノトス

四 本證ニ依リ購求シタル割引乗船券ハ他人ニ譲渡シ又ハ他人之ヲ使用スル事ヲ得サルモノトス

第 號

乘船賃金割引證

乘船區間	自 港 至
住所氏名	
年 齡	當 年
乘船等級	等
割引率	割

一 本證ハ佐賀縣主催第七回九州聯合賽艇進會出品、審査員及出品事務ヲ直接管掌スル役員ニ限り使用シ得ルモノニシテ番號及使用者ノ氏名ヲ記入シテ交付スルモノトス

二 本證ハ鹿兒島商船株式會社ノ航路ニシテ左ノ區間ニ限り自昭和七年九月二十日ヨリ至同年十月三十一日期間定額運賃二割ノ割引トス

三 本證ハ記名人以外ノ者之ヲ使用スル事ヲ得サルモノトス

四 本證ニ依リ購求シタル割引乗船券ハ他人ニ譲渡シ又ハ他人之ヲ使用スル事ヲ得サルモノトス

西之表 港及寄港地ヨリ鹿兒島ニ至ル區間 (往復共)

注意

第 號

乘船賃金割引證

乘船區間	住所氏名	年 齡	乘船等級
自 港		當 年	割 等
至 港			

表

本證ヲ攜帶スルモノハ北九州商船株式會社及對馬沿岸商船株式會社ノ乘船賃金割引トス

但當枚ノ使用ハ記名者壹人ニ限ル

本證表面ノ番號、使用者ノ身分、姓名及發行日附ハ發行者之ヲ記入シテ交付スルモノトス

本證ハ乘船券購求ノ際賃金ト共ニ發賣掛員ニ渡サルハシ本證ニ依リ購求シタル割引乗船券ハ他人ニ譲渡シ又ハ他人之ヲ使用スルコトヲ得サルモノトス

本證ノ有効期間ハ發行ノ日ヨリ發拾日以内トス

御 注 意

第 號

乘船賃金割引證

乘船區間	使用者身分	姓 名
自 至		

昭和 年 月 日發行

發行者 佐賀縣

表

御 注 意

一、本券御携帶ノ方、當會社各航路共定額運賃金ノ貳割ヲ致シマス
但壹枚ノ使用ハ記名者御壹人ニ限リマス
二、本券ハ乘船切符御購買ノ際發賣係員ニ御示シノ上
更ニ御乘船ノ際係員へ切符ト共ニ御渡ヲ願フマス

裏

乘船賃金割引券

自	港 至	等
住 所	名	
氏 名		
有 効	自昭和七年九月拾五日	
期 間	至昭和七年拾月卅壹日	

九州商船株式會社

(スト効無ハノモキナ鑑印ノ社會)

表

物 荷 品 出

縱四寸五分 横六寸

(對九月七日門鐵達)
乙第八四號

一、割引率 二割
一、割引區間

九州線各驛及九州内所
在社線各連帶驛ト佐賀
驛トノ相互間

印

一、割引期間

搬 入
自昭和七年九月二十日

至昭和七年十月十二日

搬 出

自昭和七年十月十七日

至昭和七年十月卅一日

會 進 共 産 畜 合 聯 州 九 回 七 第

第七回九州聯合畜產共進會

九州商船株式會社

搬入 自昭和七年九月二十日
至昭和七年十月十二日
搬出 自昭和七年十月十七日
至昭和七年十月卅一日

一、割引期間

印

出品荷物割引券

一、割引率 貳割

一、割引區間

一、長崎—福江—福江—佐世保間

一、牛深—本渡—三角—富岡茂木間

一、西之表—鹿兒島間

縱五寸 橫六寸

會社名及割引率左ノ如シ

會社名	割引率	
	乘車	貨物
門司鐵道局	二	割
九州產業鐵道株式會社	二	割
北九州鐵道株式會社	二	割
國東鐵道株式會社	二	割
豐州鐵道株式會社	二	割
耶馬溪鐵道株式會社	二	割
宇佐參宮鐵道株式會社	二	割
島原鐵道株式會社	二	割
口ノ津鐵道株式會社	二	割
溫泉鐵道株式會社	二	割
小濱地方鐵道株式會社	二	割
佐世保鐵道株式會社	二	割
熊延鐵道株式會社	二	割
鹿本鐵道株式會社	二	割

鹿兒島商船株式會社	北九州商船株式會社	九州商船株式會社	大阪商船株式會社	佐賀電氣軌道株式會社	薩南中央鐵道株式會社	南薩鐵道株式會社	宮崎鐵道株式會社	菊池電氣軌道株式會社
三	二	二	二	二	二	二	二	二
割			割	割	割	割	割	割
三	二	二	二	二	二	二	二	二
割	割	割	割	割	割	割	割	割

乗合自動車割引率左ノ如シ

丸善	片江	佐賀電氣軌道株式會社	佐賀タクシ一自動車商會
二	二	二	二
割	割	割	割

第十三 經 費

一、聯合縣負擔

一金八千四百六拾四圓六拾六錢 收入決算高

科目	決算高	豫算高	比増	比較	備考
聯合縣負擔費	八、一四五、四〇〇	八、一四四、九二〇	、四八〇		二
長崎縣	一、一六一、三六〇	一、一六一、三六二			
福岡縣	一、〇五八、五四〇	一、〇五八、五四〇			六
大分縣	一、一七二、三六〇	一、一七二、三六六			六
熊本縣	一、二〇六、八二〇	一、二〇六、八二六			
宮崎縣	一、一八五、五八〇	一、一八五、五八〇			
鹿兒島縣	一、二三八、〇〇〇	一、二三七、五〇六	、四九四		
佐賀縣	一、一二二、七四〇	一、一二二、七四〇			
雜收入	三一九、二六〇	二五〇、〇〇〇	六九、二六〇		
不用品賣却代	二六五、五〇〇	二〇〇、〇〇〇	六五、五〇〇		
預金利子	五三、七六〇	五〇、〇〇〇	三、七六〇		
合計	八、四六四、六六〇	八、三九四、九二〇	六九、七四〇		

一金八千四百六拾四圓六拾六錢

支出決算高

內譯

科目	決算高	豫算高	比較		備考
			增	減	
審查諸費	一、二〇八、一四〇	一、三〇一、八七〇		九三、七三〇	
書記給	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇			
審查員諸費	一、一五三、〇九〇	一、一七三、八七〇		二〇、七八〇	
審查諸費	二七、〇五〇	一〇〇、〇〇〇		七二、九五〇	
事務所費	二、七二五、五五〇	四、〇一一、七二〇		一、二八六、一七〇	
獸醫師手當	三五、〇〇〇	五〇、〇〇〇		一五、〇〇〇	
書記給	一六四、〇三〇	一八〇、〇〇〇		一五、九七〇	
看守人給	三一、〇〇〇	六〇、〇〇〇		二九、〇〇〇	
守衛給	三五、〇〇〇	六〇、〇〇〇		二五、〇〇〇	
夜警手當	一六、〇〇〇	二五、〇〇〇		九、〇〇〇	
給仕給	三七、八〇〇	六四、〇〇〇		二六、二〇〇	
小使給	一九、六〇〇	九〇、〇〇〇		七〇、四〇〇	
人夫賃	一一二、八〇〇	三六〇、〇〇〇		二四七、二〇〇	
宿直料	八、八〇〇	一一、〇〇〇		三、二〇〇	

印刷費	一、一五四、〇一〇	一、四六一、五〇〇		三〇七、四九〇	
備品費	五五五、九四〇	九三八、二〇〇		三八二、二六〇	
消耗品費	二四〇、七九〇	三五一、〇二〇		一一〇、二三〇	
通信運搬費	一三八、三〇〇	一三〇、〇〇〇		三九、五一〇	
點燈費	九〇、四九〇	一三〇、〇〇〇		二五、〇一〇	
電話費	六一、〇〇〇	五〇、〇〇〇			
給水費	二四、九九〇	五〇、〇〇〇			
飼料費	一、三三三、二〇〇	一、三三三、二〇〇			
牛	六四〇、〇〇〇	六四〇、〇〇〇			
馬	五二〇、〇〇〇	五二〇、〇〇〇			
縮羊	三一、二〇〇	三一、二〇〇			
豚	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇			
鶏	三二、〇〇〇	三二、〇〇〇			
出品記念章費	八二六、九五〇	七〇〇、〇〇〇	一二六、九五〇		
出品記念章費	八二六、九五〇	七〇〇、〇〇〇	一二六、九五〇		
褒賞費	一四〇、〇〇〇	一六五、〇〇〇		二五、〇〇〇	
畜産製造品	五〇、〇〇〇	五五、〇〇〇		五、〇〇〇	
器具	九〇、〇〇〇	一一〇、〇〇〇		二〇、〇〇〇	

陣列裝飾費	五〇六、六二〇	七九四、五〇〇	二八七、八八〇
幟幕	三七六、九六〇	四四四、五〇〇	六七、五四〇
縣及各區分旗	四六、五六〇	一七〇、〇〇〇	一二三、四四〇
萬國旗	一五、六〇〇	六〇、〇〇〇	四四、四〇〇
モール	六七、五〇〇	一一〇、〇〇〇	五二、五〇〇
雜費	一、七三四、二〇〇	九八、六三〇	事務委員記念品其他
雜費	一、七三四、二〇〇	九八、六三〇	
合計	八、四六四、六六〇	八、三九四、九二〇	六九、七四〇

二、聯合各縣共進會費

縣名	豫算	高	內	譯
長崎縣	二、〇八四	圓	聯合負擔額	一、一六二圓
福岡縣	二、四三三		聯合負擔額	九二二
			聯合負擔額	一、〇六〇
			聯合負擔額	二〇五
			聯合負擔額	七三四
			聯合負擔額	四三四

大分縣	三、三〇〇	聯合負擔額	一、一七三
熊本縣	二、七五四	雜出品諸費	一、七四五
宮崎縣	二、〇〇〇	聯合負擔額	三八二
鹿兒島縣	六、五〇〇	聯合負擔額	一、二〇七
		聯合負擔額	一五〇
		聯合負擔額	九六〇
		聯合負擔額	四三七
		聯合負擔額	一、一八六
		聯合負擔額	七六一
		聯合負擔額	五三
		聯合負擔額	一、二三八
		聯合負擔額	一〇〇
		聯合負擔額	一、三九五
		聯合負擔額	二、四三九
		聯合負擔額	九七八
		聯合負擔額	三五〇

佐賀縣		二六、〇〇〇	
聯帶負擔額	一、二二三	會場設備費	一八、〇五二
雜給費	一〇〇	備品費	三一三
消耗品費	二七二	通信搬費	一一一
印刷費	二五八	出品獎勵費	一、二八七
借上費	一八三	點燈費	八
開場式費	三八	授與式費	四、二四五

第十四招待

一、案内狀

本會ヨリ發送シタル案内狀左ノ如シ

私製端書

拜啓秋冷之候愈御清穆奉賀候
陳者來る十月十二日より十七日迄佐賀市城内に
於て第七回九州聯合畜産共進會を開催し左記の
通諸式舉行致候間御貴臨被成下度此段御案内
申上候 敬具

十月十二日午前十時 開會式 會場内
十月十七日午前十時 褒賞授與式 會場内

昭和七年九月 日

第七回九州聯合畜産共進會長

佐賀縣知事 早川三郎

追而御來場の際は本狀を受付係へ御示し被下度候

私製端書

拜啓益々御清適の段奉賀候
 陳者來る十月十七日第七回九州聯合畜産共進
 會褒賞授與式舉行致候に就ては式後佐賀市公
 會堂に於て粗糞差上度に付御差繰り御貴臨の
 榮を賜はり度此段御案内申上候 敬具

昭和七年九月

日

佐賀縣知事 早川三郎

殿

追而乍御手数數御來否十月十日迄に御通知相煩度尙御來場
 の際は本狀を受附係へ御示し被下度候

表

官製端書

佐賀縣廳内

第七回九州聯合畜産共進會事務所
 行

裏

褒賞授與式

(十月十七日午前十時舉行)

出席

缺席

住所

(芳名)

二、案内者

本會ヨリ案内狀ヲ發シタル數ハ一千九百十二人(出席者一千二十二)人ニシテ主ナル案内者左ノ如シ

- 農林、內務、陸軍、鐵道各大臣並各次官
- 農林省各局長及畜産局各課長、各事務官、各技師、畜産試驗場、種羊場、獸疫調查所、種馬牧場、種馬育成所、種馬所、種雞場、各場所長、各技師
- 宮內省主馬頭、御料牧場長及技師
- 內務省各局長、保健、醫務、防疫、豫防各課長
- 陸軍省馬政課長、獸醫、騎兵兩學校長、軍馬補充部長、各支部長
- 第六、第十二師團長及參謀長、獸醫部長及高級部員、乘馬隊長
- 佐世保鎮守府司令長官
- 東京、京都、九州、北海道各農學部長
- 鐵道省運輸局長、門司鐵道局長、九州管内各運輸事務所長
- 熊本稅務監督局長及總務部長

○中央畜産會、競馬協會、養雞組合、中央會各會頭、馬匹協會理事長、主事、技師、中央獸醫會長、日本獸醫師會長

○警視廳總監、獸醫課長

○關東、南洋各長官及內務局長

○朝鮮、臺灣各總督並各局長

○北海道、樺太各長官、各府縣知事、內務部長及農務課長、畜産主任技師、種畜場長

○聯合縣知事、各部長、關係各課長、支廳長、市長、貴衆兩院議員、縣會正副議長、縣參事會、員、畜産組合正副組長、畜産組合聯合會正副會長、主事、幹事、主任技術者、縣農會正副會長、同主任技術者、郡市農會長、縣及郡市委員、農事試驗場長、高等農林學校長、農學校長、營林署長、產馬畜産功勞者、種馬所長及所員、種畜種雞場長及場員、各縣獸醫師會正副會長、日刊新聞社長

○協贊會役員

○主催縣各部長、各課長、高等官並同待遇者、貴衆兩院議員、縣會議員、佐賀市會議員、商工會議所議員、畜産組合役員、獸醫師會長、縣郡農會役員、畜産功勞者、市町村長、警察署長、農學校長、舊藩主、市内官公衙長、日刊新聞社長及同記者、縣委員

第十五 參觀人

本會開會中ハ誠ニ快晴ナリシト一般畜産思想ノ向上セシニヨリ遠近ヨリノ團體參觀者等頗ル多數ニ上リ其ノ入場者ニ對シテハ正門受付ニ於テ計數器ニ依リ計算ノ結果左ノ如シ

十月十二日(開會式)	一二、四〇〇人
同 十三日	一五、〇七六
同 十四日	一六、八八四
同 十五日	二六、三七六
同 十六日	二九、七五五
同 十七日(褒賞授與式)	二九、九七〇
計	一三〇、四六一

第十六 諸會及餘興

本會開催ヲ機トシ佐賀市ニ於テ開催セラレタル諸會左ノ如シ

一、諸會

會名	日	時	場所	主催者
第七回九州聯合畜産共進會	十月十二日午前十時開會式 十月十七日午前十時授與式		共進會場	縣 帝國馬匹協會
馬事宣傳映畫會	自十月十二日午後六時半 至十月十四日午後六時半		徵古館前庭	帝國馬匹協會
畜産宣傳映畫會	自十月十二日午後六時半 至十月十四日午後六時半		共進會場	中央畜産會
九州獸醫師大會	十月十五日午前十時		縣教育會館	中央畜産會
家畜保險宣傳會 (博多二〇加)	十月十五日午後一時		市公會堂	縣畜産組合聯合會
九州畜産大會	十月十六日午前十時		市公會堂	縣畜産組合聯合會
九州家畜保險大會	十月十六日午後一時		市公會堂	帝國馬匹協會
馬事展覽會	自十月十七日 至十月十八日	每日 午前八時ヨリ 午後五時迄	徵古館	帝國馬匹協會
畜力利用農具實演會	自十月十七日 至十月十八日	每日 午前八時ヨリ 午後五時迄	徵古館前庭	帝國馬匹協會
畜産物消費宣傳會	自十月十七日 至十月十八日	每日 午前八時ヨリ 午後五時迄	市內各商店	中央畜産會
滿蒙展覽會	自十月十二日 至十月廿二日	每日 午前八時ヨリ 午後五時迄	商工獎勵館	縣出品協會

二、餘 興

佐賀市協賛會ニテハ十月十二日ヨリ同十七日ニ至ル六日間毎日市公會堂ニ於テ佐賀券番及町藝妓ノ舞踊其他面浮立佐賀仁和加等ヲナシ觀覽セシメタリ

附 錄

畜產物消費宣傳

第七回九州聯合畜產共進會ヲ機トシ、中央畜產會、養鶏組合、中央會、佐賀縣畜產組合聯合會ニ於テハ農林省ノ獎勵金ノ交附ヲ受ケ畜產物消費宣傳ヲ實施セリ

一、印刷物ノ配付

1 ポスター掲揚

ポスター三百枚ヲ印刷シ市内樞要地ノ商店陳列窓、湯屋、理髮館等ニ掲揚ス

2 宣傳ビラノ撒布

ビラ二種三萬枚ヲ印刷シ共進會期前ヨリ市内ニ配付シ十月十三日十四日兩

日自動車二臺宛ヲ以テ市内ヲ隅ナク乘廻シ宣傳ビラ二萬枚ヲ撒布シ尙十七日鳴物入假裝宣傳隊ヲ組織シ市内ヲ巡回宣傳ビラ一萬枚ヲ配付セリ

3 立看板揭示

市内樞要場所ニ講演會、映寫會、廉賣會、牛乳接待ニ關スル宣傳立看板四枚ヲ立テタリ

三、映 寫 會

畜產ニ關スル活動寫眞ヲ十月十二日ヨリ十四日迄共進會場ニ於テ開催シ三千名ノ入場者アリテ盛況裡ニ終了セリ

四、廉 賣 會

市内ノ主ナル食肉販賣店四軒ヲ指定シ廉賣看板廉賣大旗ヲ立テ牛、豚、鶏肉、鶏卵ノ廉賣ヲ行ハシメ消費宣傳上多大ノ効果ヲ收メタリ

九州畜產大會

第七回九州聯合畜產共進會ヲ機會トシ佐賀縣畜產組合聯合會主催ニテ第十回九州畜產大會ヲ十月十六日佐賀市公會堂ニ於テ開催セリ同日ハ農林省畜產關係官及中

中央畜産団体ヲ始メ各縣畜産組合聯合會役職員並組合員等五百有餘名出席シ劈頭主催者トシテ辻野聯合會會長開會ノ挨拶ヲ述ヘ次テ小田九州畜産聯合會會長ノ挨拶來賓佐賀縣知事及佐賀市長ノ祝辭朗讀アリ小田會長及三善熊本縣畜産組合聯合會會長ハ第九回畜産大會ノ經過ヲ報告シ次ニ各縣ヨリ提出セル議案ノ審議ニ移リ質疑應答後各縣ヨリ二名宛ノ委員ヲ選出シテ之カ審議ヲナシ最後ニ任期滿了ノ會長副會長ノ改選並名譽顧問ヲ推薦シ次回ハ大分縣主催ヲ以テ開催スルコト、シ正午盛會裡ニ閉會シタリ

馬事展覽會並畜力利用實演會
及馬事宣傳映寫會

第七回九州聯合畜産共進會々期中馬事展覽會畜力利用農具實演會及馬事宣傳映寫會ヲ實施シタルガ之カ爲メ農林省ヨリハ中川技手ヲ帝國馬匹協會ヨリハ竹中技師及田村囑託ノ派遣アリ所要ノ材料ヲ携行專ラ之等事業ノ指導實演ニ努メラレタリ右會期中ハ天氣快晴ナリシト縣社松原神社ノ祭典等ニテ各縣ヨリノ參觀者多ク非常ノ盛況ヲ呈セリ其ノ概況左ノ如シ

一、開催月日 馬事展覽會 自十月十二日 至同月十七日 六日間

畜力利用農具實演會 右 同

馬事宣傳映寫會 自十月十五日 至同月十六日 二日間

二、開催場所 馬事展覽會 佐賀市松原町徴古館

畜力利用農具實演會 同 右 前庭

馬事宣傳映寫會 第一日 畜産共進會場
第二日 佐賀市公會堂

三、宣傳並印刷物ノ配布

1 立 看 板

縣廳前畜産會場、佐賀驛前、馬事展覽會場前及松原神社前、其ノ他市内樞要ノ地ニ三尺ニ九尺ノ立看板ヲ立テ事業實施ニ關スル宣傳ヲナセリ

2 バンフレットノ配布

帝國馬匹協會ニ於テ印刷セル馬事ニ關スルバンフレット十有餘冊ヲ美裝ノ封筒ニ收メ共進會出陳者及畜産團體關係者ニ配布セリ

3 ビラノ配布

帝國馬匹協會ニ於テ印刷ノビラ三萬枚ヲ各新聞紙ノ折込トシテ市内各家庭

ニ配布スルノ外、共進會場、縣廳前其ノ他市内ノ要所ニ掲吊若クハ配布セリ

四、會場設備及事業實施ノ狀況

1 馬事展覽會場

會場ハ正門前ニ大裝飾門ヲ屋上ニハ長サ二丈餘ノ大幕ニ會場ヲ表示シテ行者ノ注意ヲ喚起シ場内ニハ算木形ノ立柱ヲ設ケテ農林省出品ノ十二ヶ月ヲ描寫セル農村ノ壁畫、馬ノ種類、畜力利用農具ノ模型、オリンピック大會出場馬術選手ノ妙技、馬事若クハ農具ニ關スル懸賞模範ポスター、其ノ他内外馬事ニ關スル幾百千ノ珍奇ノポスター及寫眞ヲ揭示シ且ツ會場ノ一隅ニハ帝國馬匹協會編纂ノパンフレット其ノ他馬事ニ關スル書籍ヲ陳列シテ希望者ニ實費ヲ以テ頒布シタルニ非常ノ賞讚ヲ博シ畜産家一般愛馬家ノ入場者多ク會期中ヲ通シ入場者總數壹萬二千人ニ遠シ、非常ノ盛況ヲ呈セリ

2 畜力利用農具實演會

會場ニハ四間ニ八間ノ天幕二張ヲ設ケ天幕内ニハ脱穀機、糶搥機、截葉機其ノ他新式ノ利用農具ヲ陳列シ同時ニ馬二頭ヲ以テ之ガ使用方法ヲ實演シテ一般參觀者ニ觀覽セシメタルニ展覽會同様多數ノ入場者アリ共進會出品農具

3 馬事宣傳映寫會

ト關聯シ多大ノ効果ヲ齎シタルモノト認メタリ

第一日ハ農林省及帝國馬匹協會所管ノ「名馬の譽」愛の手綱」及「美しき愛」ノ三種ヲ第二日ハ同「オリンピック大會馬術の實寫」及「名馬の譽」ヲ映寫セルニ第一日ハ四百人第二日ハ二千人ノ入場者アリ之又非常ノ盛況ヲ呈シ馬事思想ノ向上ニ多大ノ貢獻ヲ齎シタルモノト認メタリ

九州沖繩家畜保險大會

第七回九州聯合畜産共進會ヲ機トシ十月十六日午後一時ヨリ帝國馬匹協會主催ノ

モトニ佐賀市公會堂ニ於テ九州沖繩家畜保險大會ヲ開催セリ

各縣ヨリ出席者約三百名本省ヨリ永松家畜保險課長臨席帝國馬匹協會ヨリ南澤理事内村監事竹中技師出席左ノ如キ有効適切ナル決議ヲナシ頗ル盛會裡ニ終了セリ

大會順序

一、開會ノ趣旨（南澤理事）

二、農林大臣告辭（永松家畜保險課長代讀）

附錄

事務報告

三、佐賀縣知事祝辭 (辻野内務部長代讀)

四、討論 (問題 畜産ノ經濟更生ヲ圖ラムカ爲家畜保險ノ普及發達ヲ促進スヘキ有効適切ナル方策如何)

討論各縣代表者

- | | |
|------|--------------|
| 福岡縣 | 檜崎顯三君 (順序不同) |
| 大分縣 | 乙津直記君 |
| 宮崎縣 | 川越武雄君 |
| 長崎縣 | 原口寅吉君 |
| 鹿兒島縣 | 轟木藤吉君 |
| 熊本縣 | 平金正行君 |
| 佐賀縣 | 槻館留吉君 |

五、決議

吾人ハ現下産業不況ニ直面シ畜産ノ經濟更生ヲ圖ラムカ爲其ノ根本的施設タル家畜保險ノ普及發達ヲ促スヲ最モ緊要ナリト認ム仍テ左記各項ノ實現ニ邁進セムコトヲ期ス

記

- 一、家畜保險組合ノ設置ヲ獎勵シ且ツ之カ經營ノ基礎ヲ確立セムカ爲政府ハ徹底的助成ノ途ヲ講スルコト
- 二、附加再保險料ヲ國庫ノ負擔トシ且ツ家畜保險組合技術員並事務員設置費ニ對シ全額ヲ補助セラレタキコト
- 三、繼續加入ノ手數ニ依リ保險料ノ遞減ヲ圖ルコト
- 四、畜産業者ハ努メテ其ノ飼養ノ牛馬ヲ保險ニ附シ之カ堅實ナル發達ヲ期スルコト

右決議ス

昭和七年十月十六日

九州沖繩家畜保險大會

六、講演 (永松家畜保險課長)

七、閉會 (南澤理事)

八、宣傳劇 博多二〇加 活動寫真

九州獸醫師大會

第七回九州聯合畜産共進會ヲ機トシ佐賀縣獸醫師會ニ於テハ日本獸醫師會ト合同主催ノ下ニ十月十四日午前十時ヨリ佐賀市教育會館ニ於テ九州獸醫師大會ヲ開催セリ

同日ハ各縣ヨリ出席獸醫師百二十八名ニシテ佐賀縣知事代理辻野内務部長、山脇獸疫調査所長、横堀農林技師、出口第十三師團内務部長、内村日本獸醫師會長、西郡同會計部長、高橋中央獸醫會近幾支部長、田久保佐賀縣獸醫師會長開會ヲ宣シ内村兵藏氏ヲ座長ニ推薦、佐賀縣知事、佐賀市長、佐賀縣畜産組合聯合會長ノ祝事並ニ山脇、横堀出口、三氏ノ講演アリ更ニ鐵道獸醫師設置ニ關スル件外六件ヲ議決シ午後五時頗ル盛會裡ニ終了セリ

昭和八年三月二十日印刷
昭和八年三月三十一日發行

發行所 佐賀縣

佐賀市赤松町三六

印刷者 木下亮二

佐賀市赤松町三六

印刷所 晴雲堂印刷所

終